

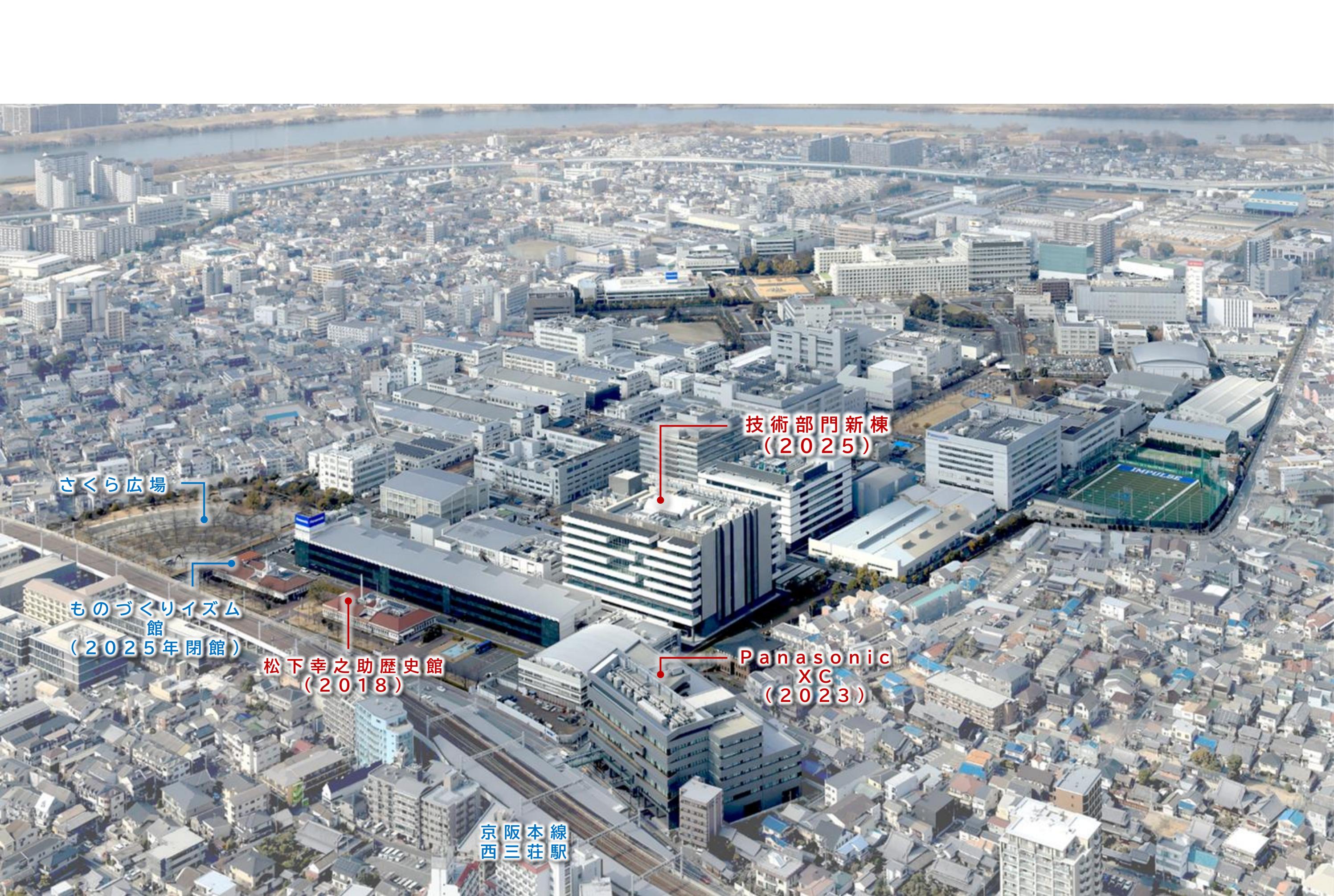
パナソニック ホールディングス(株)
技術部 門西門真新棟

この先100年、ずっと最先端なラボ



建 築	主 地 積	: パナソニック ホールディングス株式会社
敷 地	: 大阪府門真市大字門真1006番1他	
想 象	: 地面積	: 68,268.11m ²
建 築	: 地面積	: 7,060.00m ²
延 床	: 積 面	: 6,046.72m ² (新棟)+57.03m ² (付属棟)
階 構	: 積 面	: 42,094.29m ² (新棟)+57.03m ² (付属棟)
CASBEE	: 積 数	: 地上8階 P1階
B E E	: 造	: SRC 造、一部S 造
B P I	: 値	: Sランク
B E I	: 値	: 3.1
B E L S 認 証		: 0.75
		: 0.58
		: ZEB Oriented

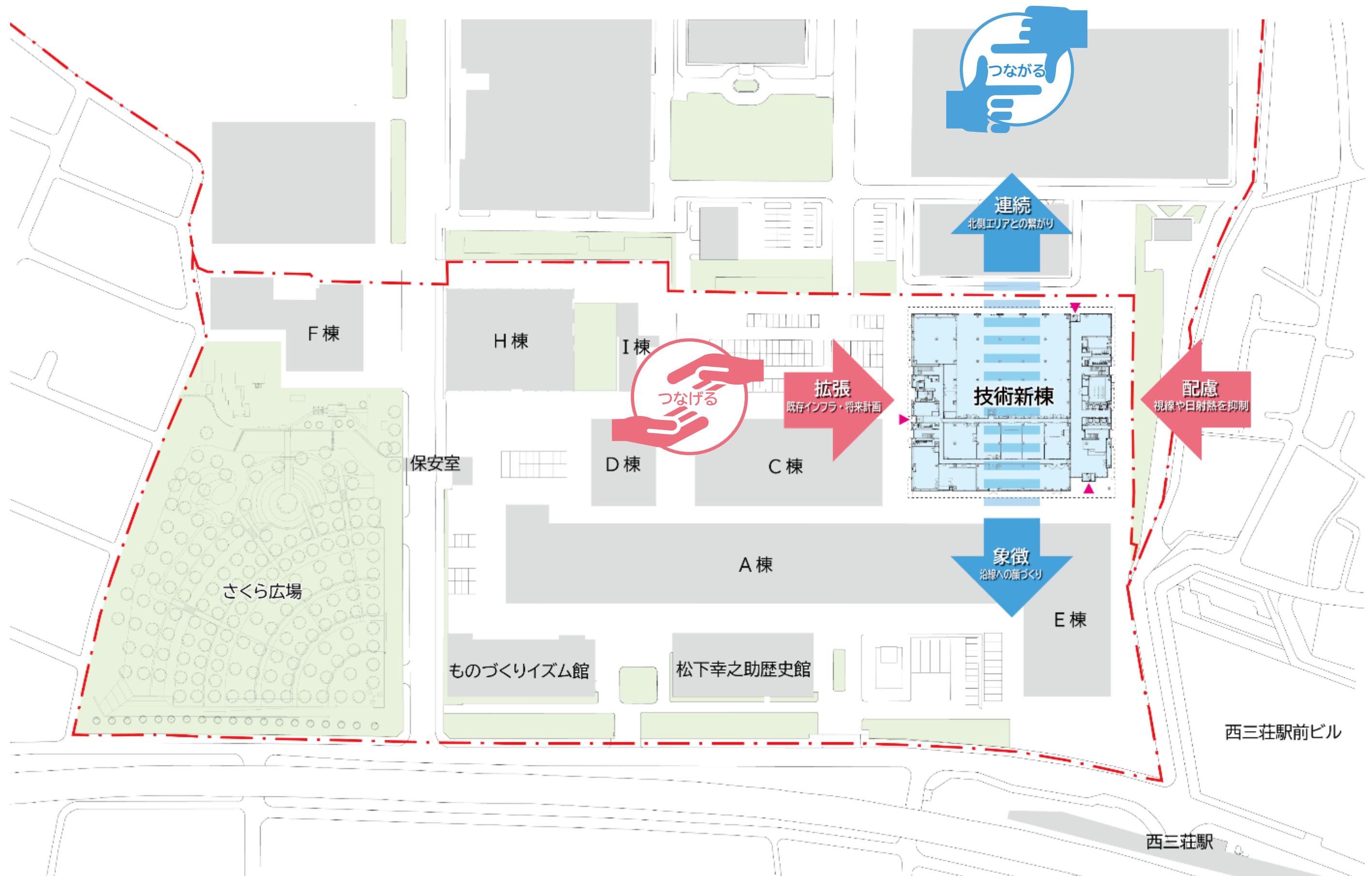


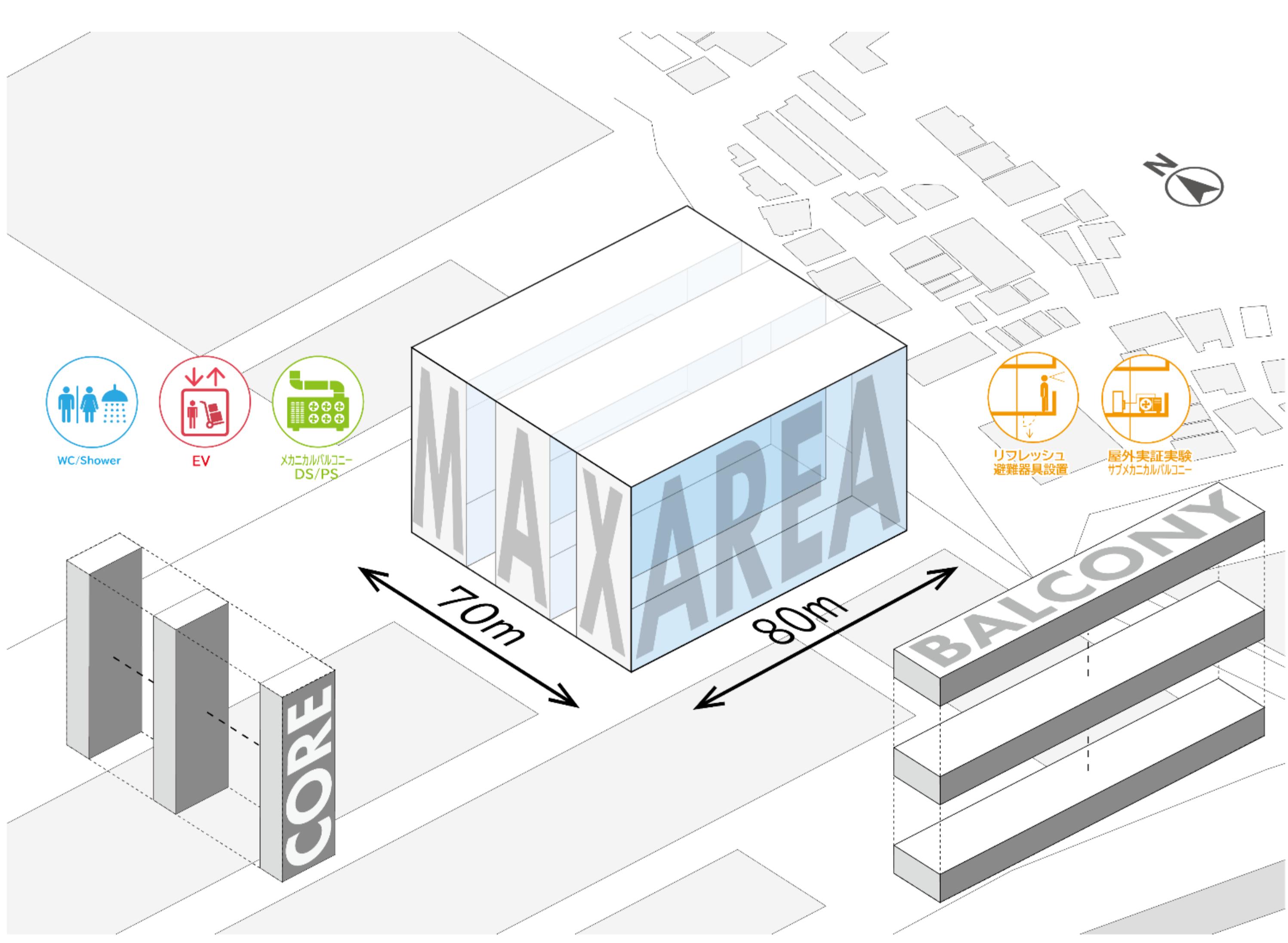


計画地は京阪本線西三荘駅の正面、約50万m²の広大なパナソニック西門真地区の起点

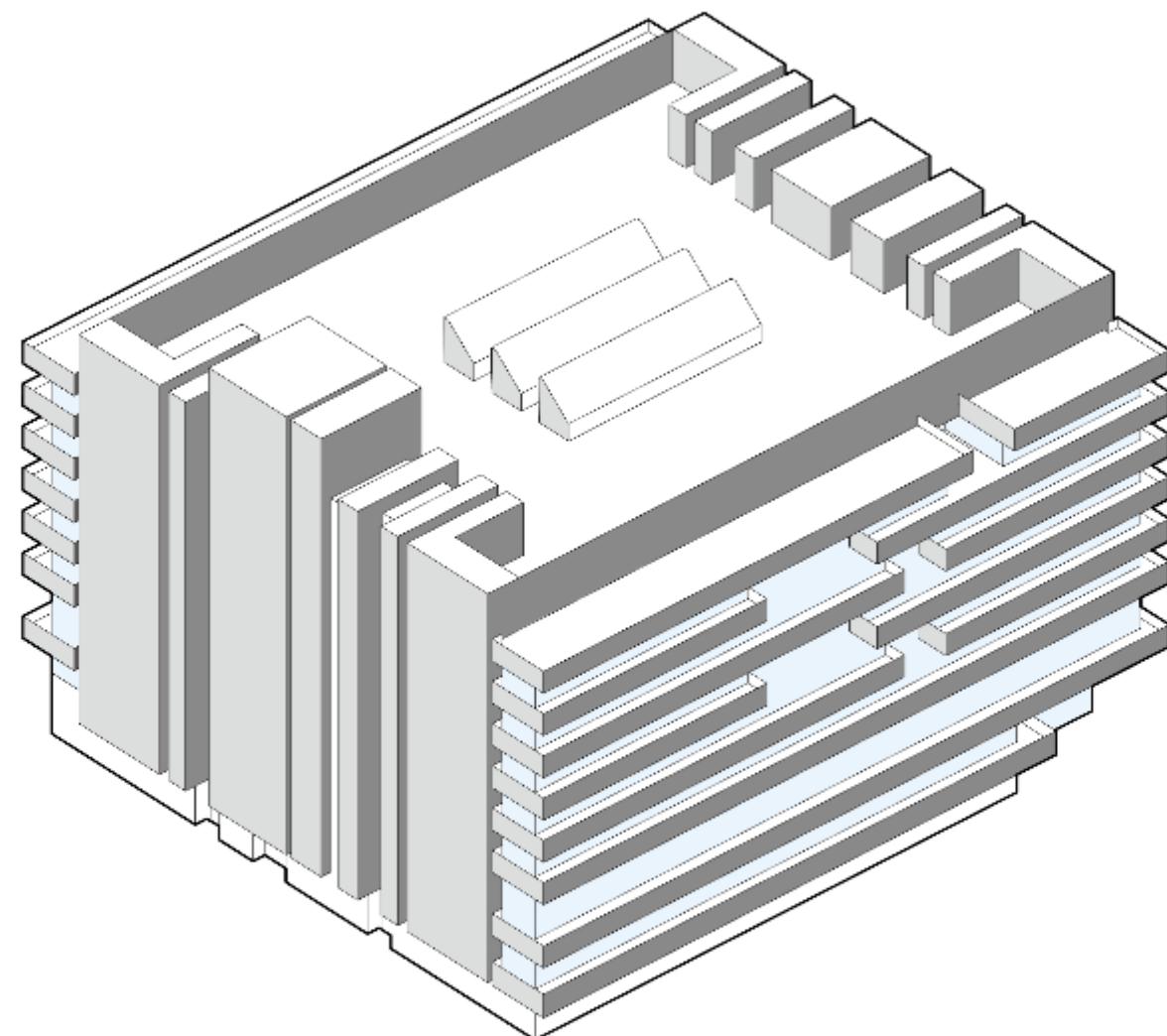


南北:既存との連続、東西:周辺への配慮





機能と環境にマッチしたブルータルな表現で、
形式や主義に囚われない抽象度の高いデザイン

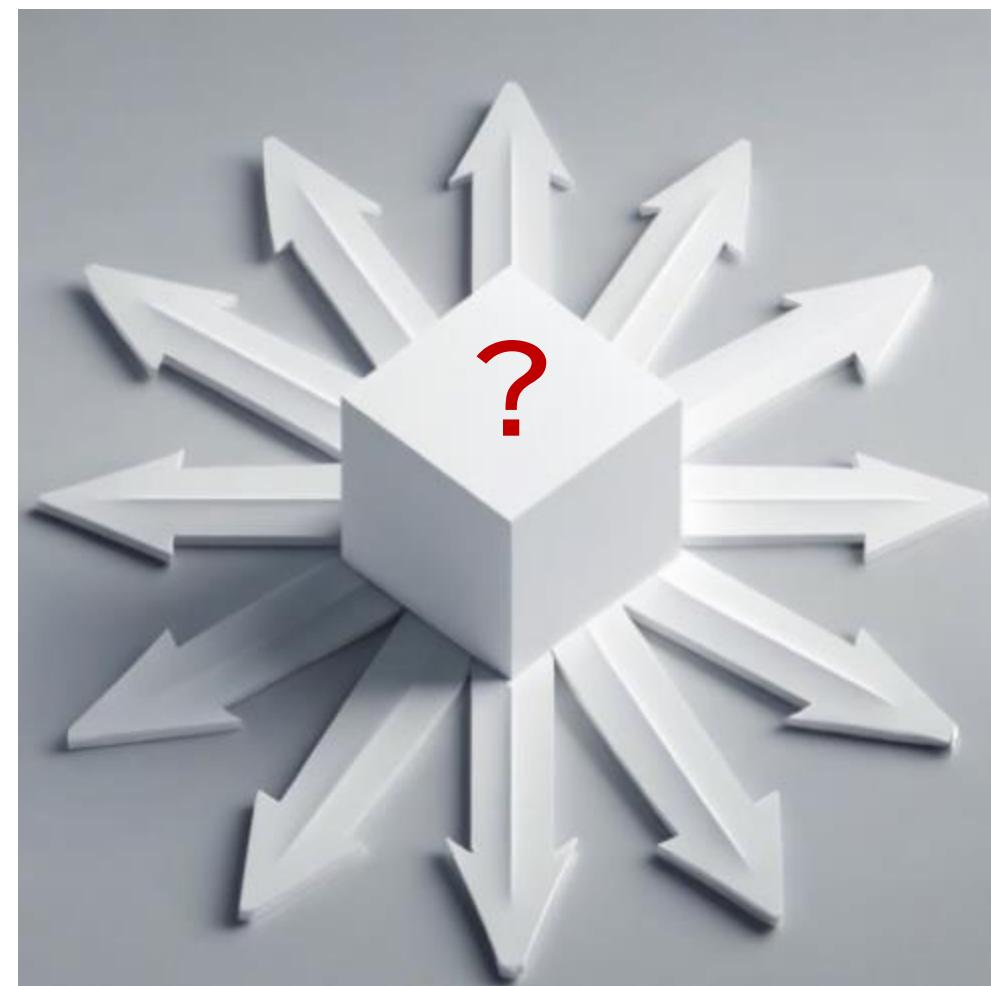


何が決め手？

組織はどうなる？

何が課題か？

上手くいくか？

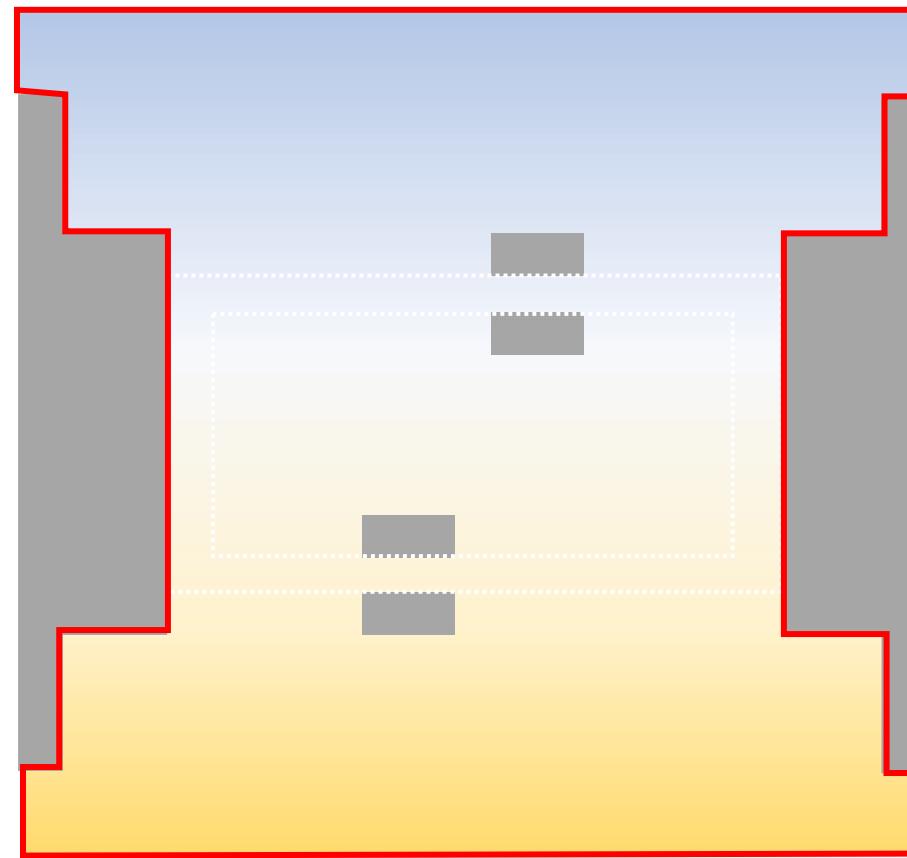


ゴールや働き方はいつまでも変わる

予測困難な状況で判断を粘る

必要な時に即座にアップデートが必要

与条件(組織・目的・規模・設備)はいつまでも変わり続ける



社会環境の変化に対応可能な
「使い続けられる価値」

II

この先100年、ずっと最先端なラボ

「変化」を受け入れるために、本質的に「変化しないもの」とは何か
それを新築でどう作り、どう使うかを
3つの工夫で応える

柔軟性

Flexibility



将来のいかなる変更にも
追従できるしくみ

創造性

Creativity



知的生産性を向上
させるしくみ

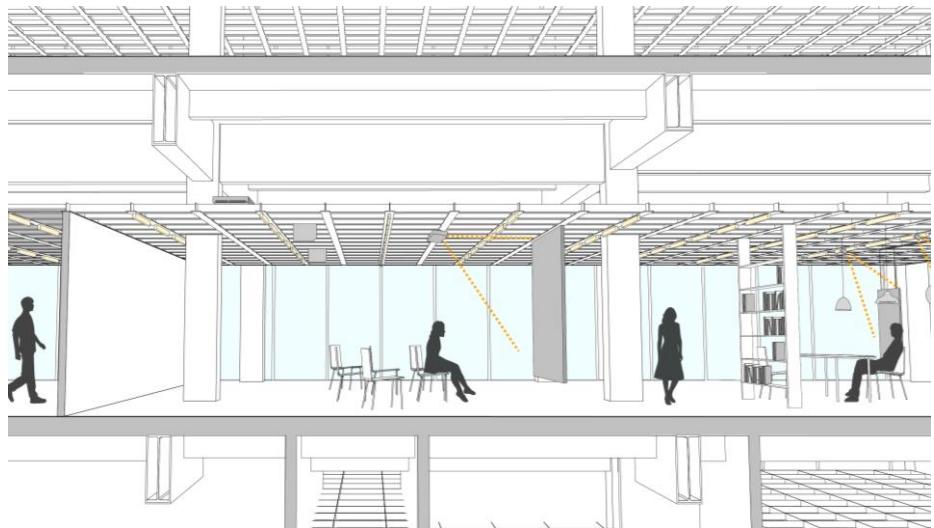
持続可能性

Sustainability



環境にやさしく事業継続性を
考慮したしくみ

柔軟性 Flexibility



将来のいかなる変更にも
追従できるしくみ

創造性 Creativity



知的生産性を向上
させるしくみ

持続可能性 Sustainability

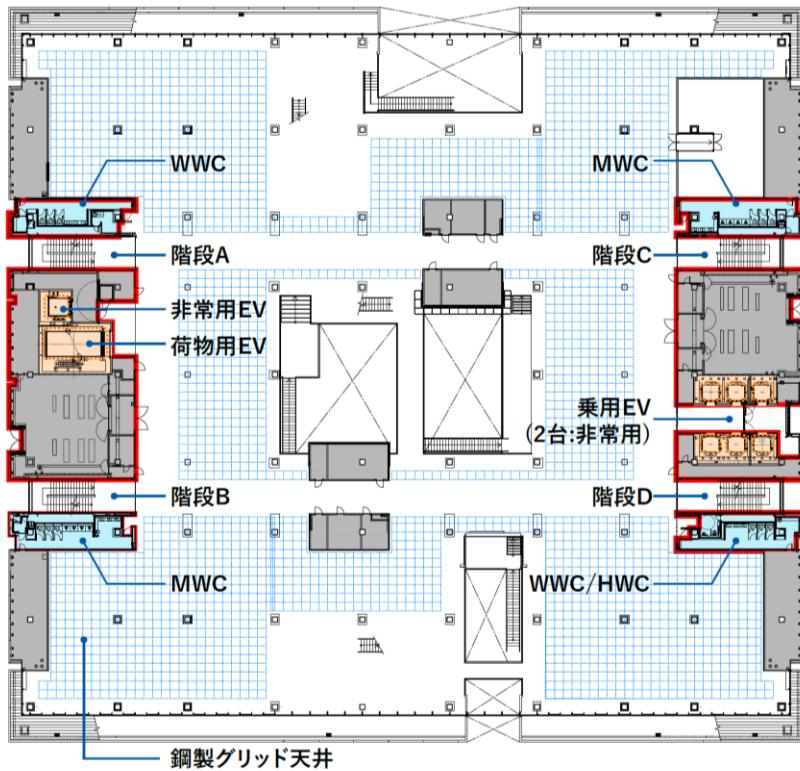


環境にやさしく事業継続性を
考慮したしくみ

インフラストラクチャーをつくる

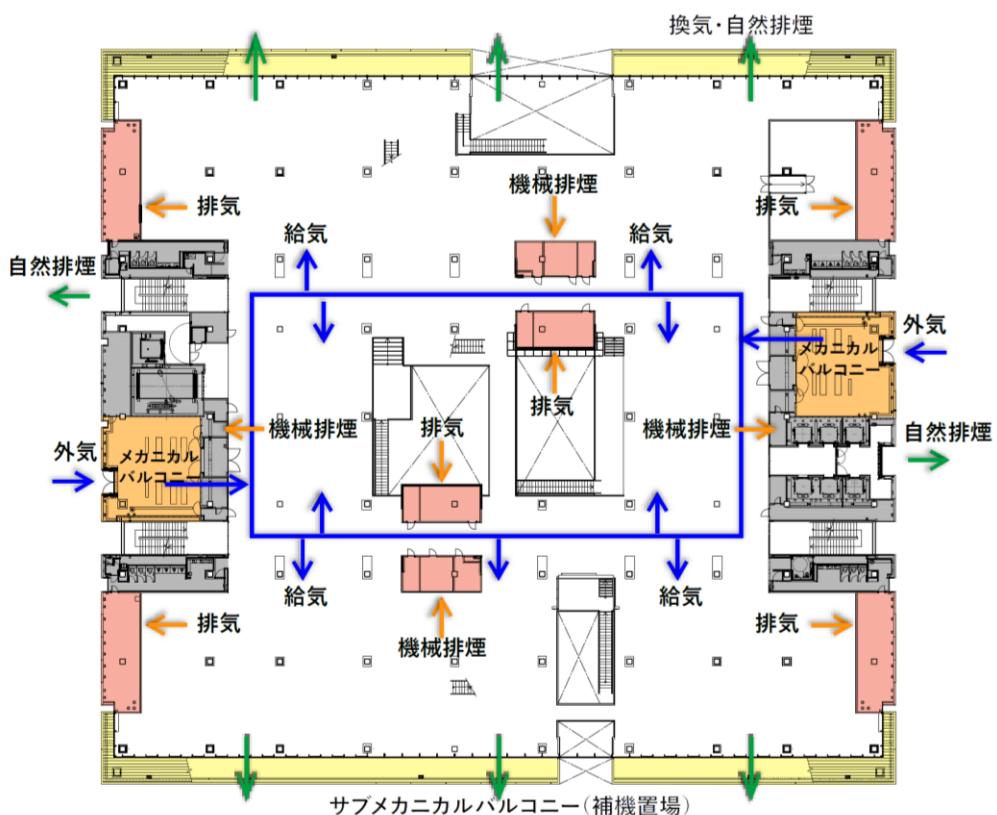
建築

ツインコア



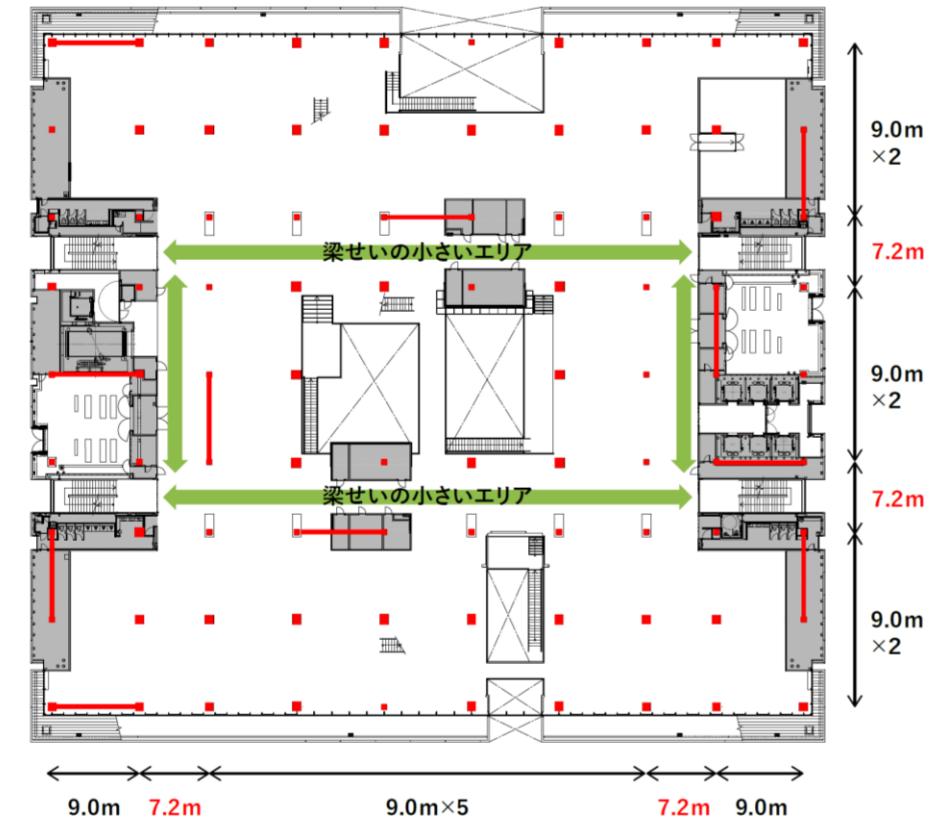
設備

マルチシャフト



構造

適材適所の架構

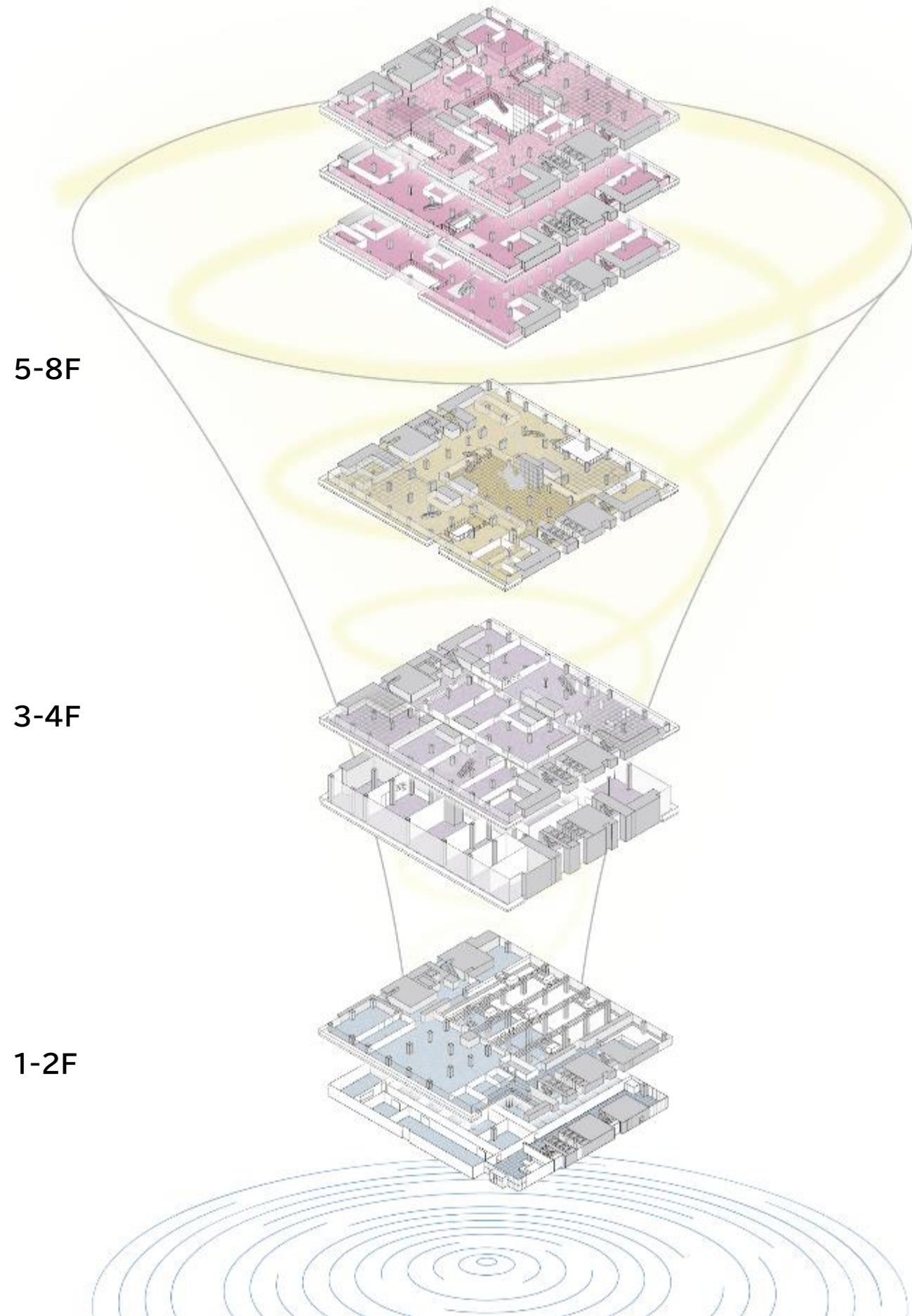


最大面積
最適コア配置

あらゆるレイアウトに応える
フレキシブルな基幹設備

間仕切可変を優先した耐震配置
超耐荷重、超振動抑制(特殊基礎)

フロア構成



5-8F

3-4F

1-2F

イノベ・共創フロア

ラボ + オフィス

社会と繋がり多様なヒト・発想を受け入れ
カタチとして示すことで社内外と共に創

技術創造フロア

特殊・大型ラボ

最速で実現可能なレベルまで洗練・具現化

事業創造フロア

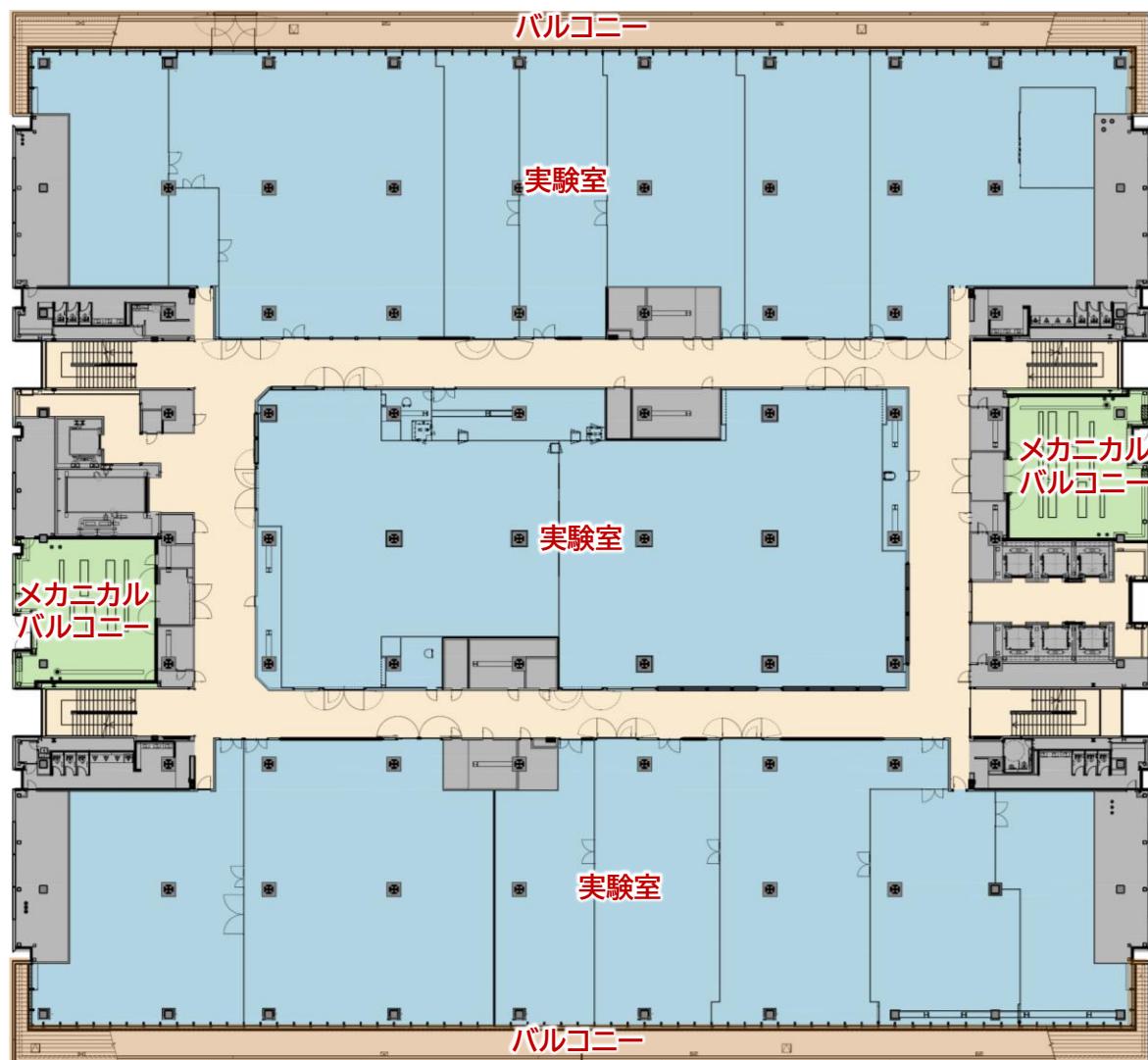
製造ラボ

モノづくりのラインにのせ素早く社会へ送り出す

オフィスとラボが未分で、何にでもなれる=どこでもラボ

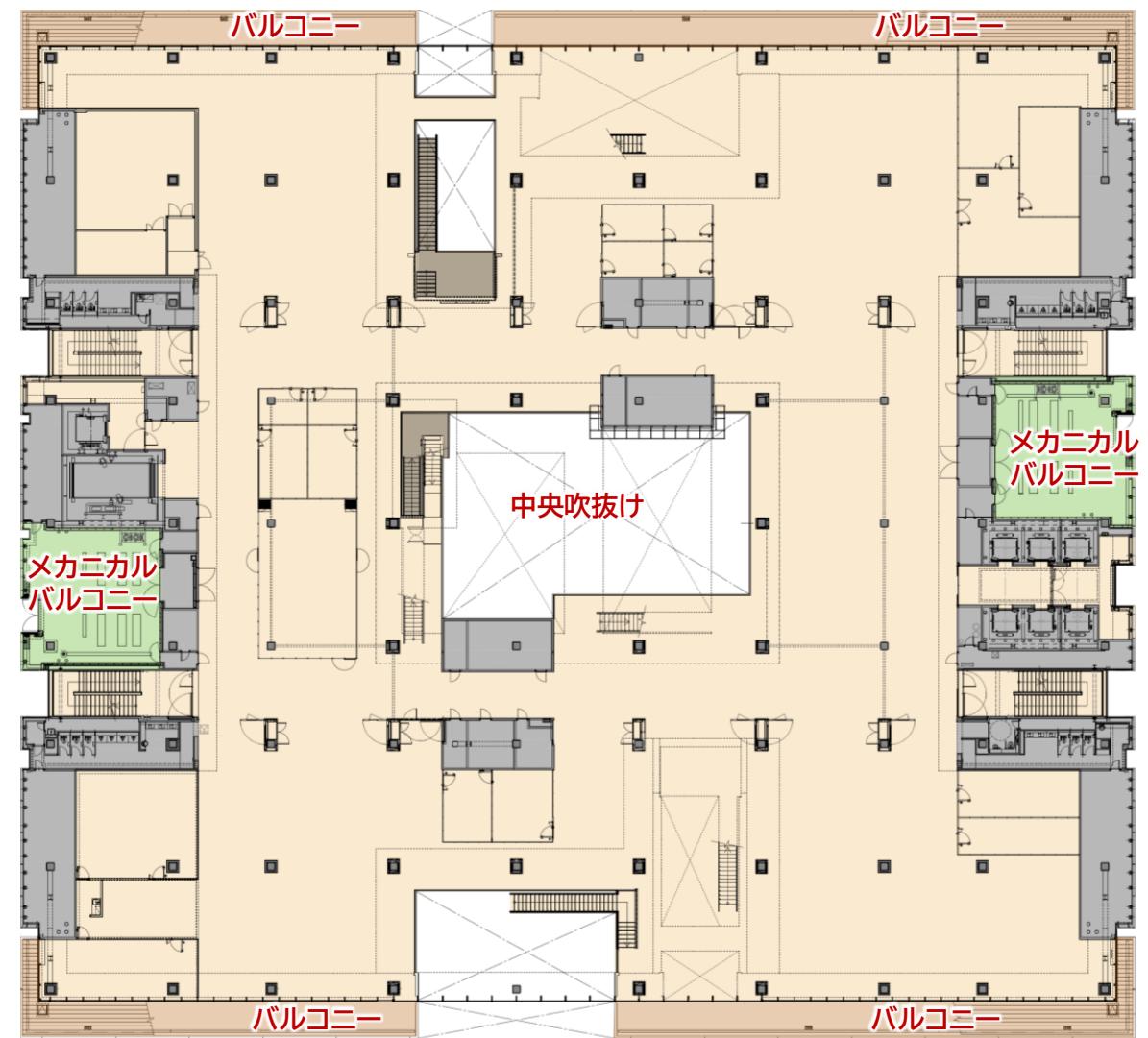
3~4階平面図

ラボに振り切ったプラン



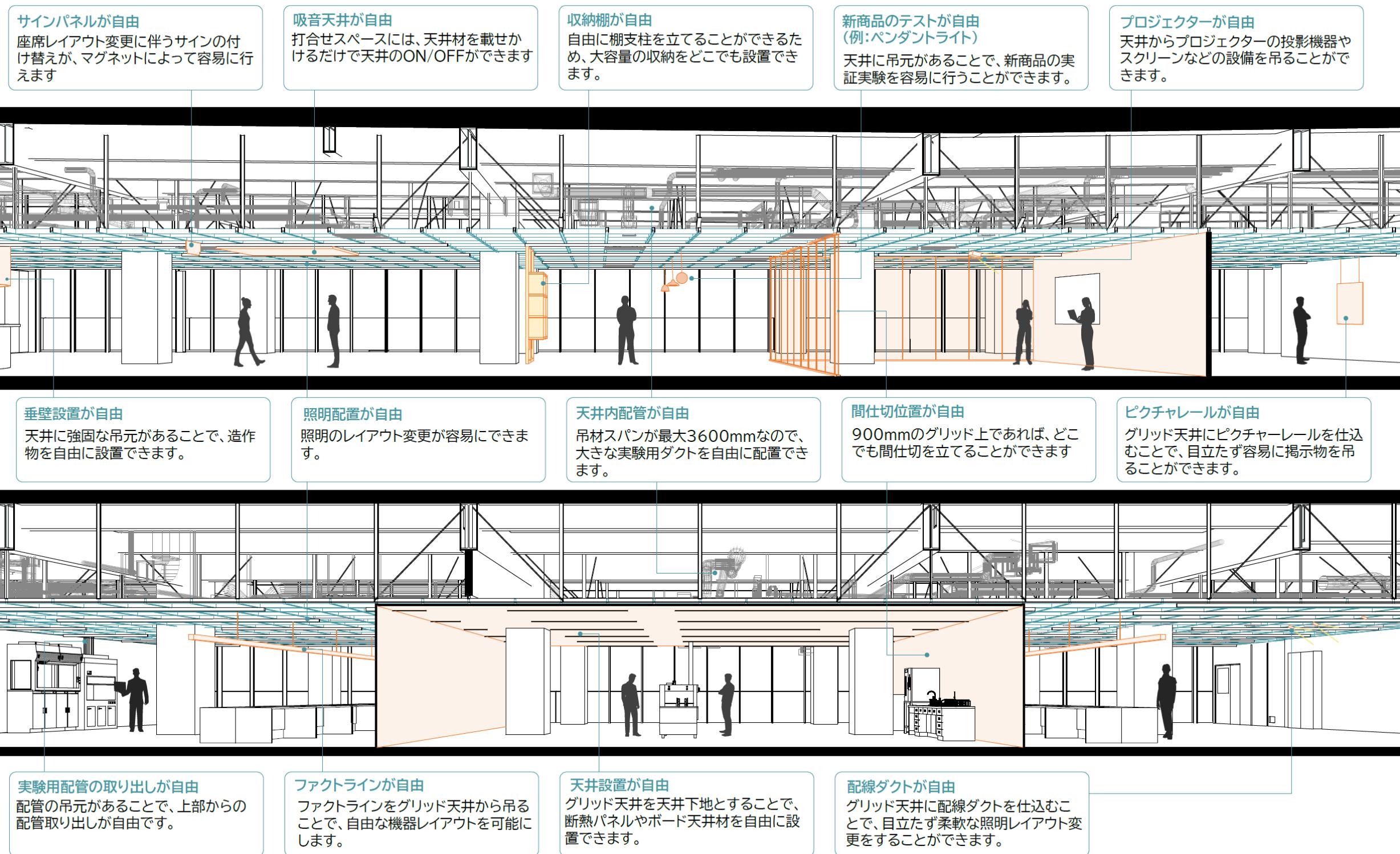
5~8階平面図

オフィスに振り切ったプラン



鋼製グリッド天井

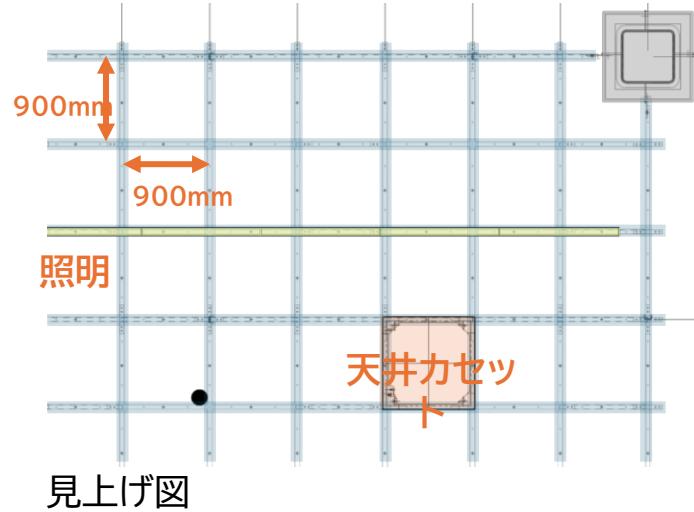
設備の大掛かりな改修なしで、どこにでもラボをつくることができる



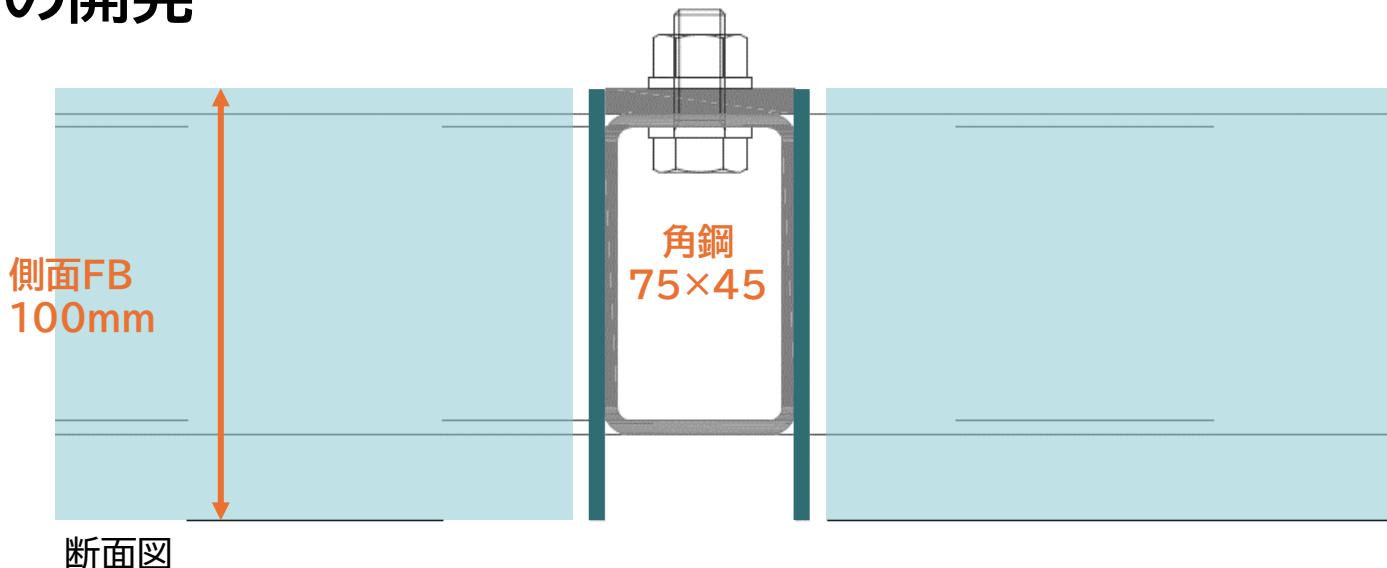
ディテールの開発



グリッド天井

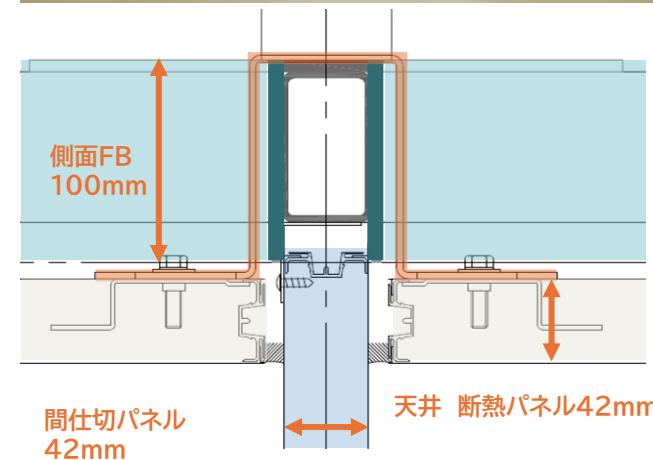


見上げ図



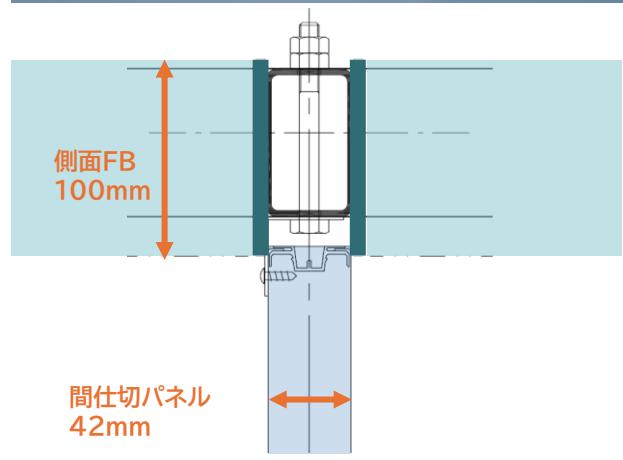
断面図

断熱パネル(天井あり)



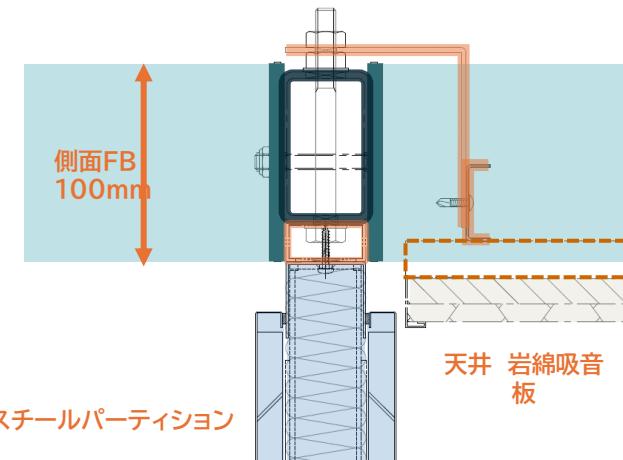
間仕切パネル
42mm

断熱パネル(天井なし)



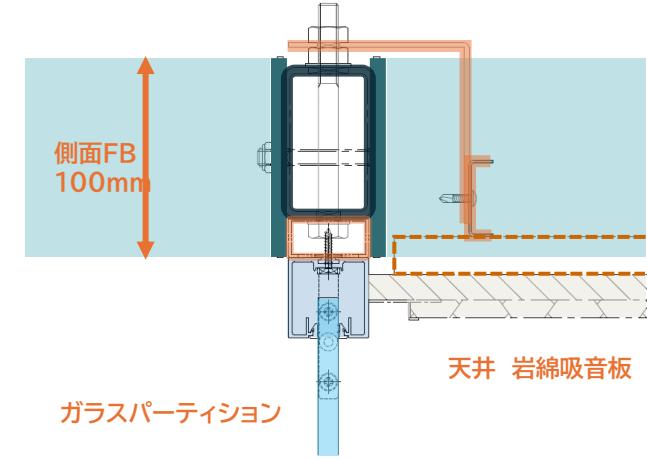
間仕切パネル
42mm

スチールパーティション



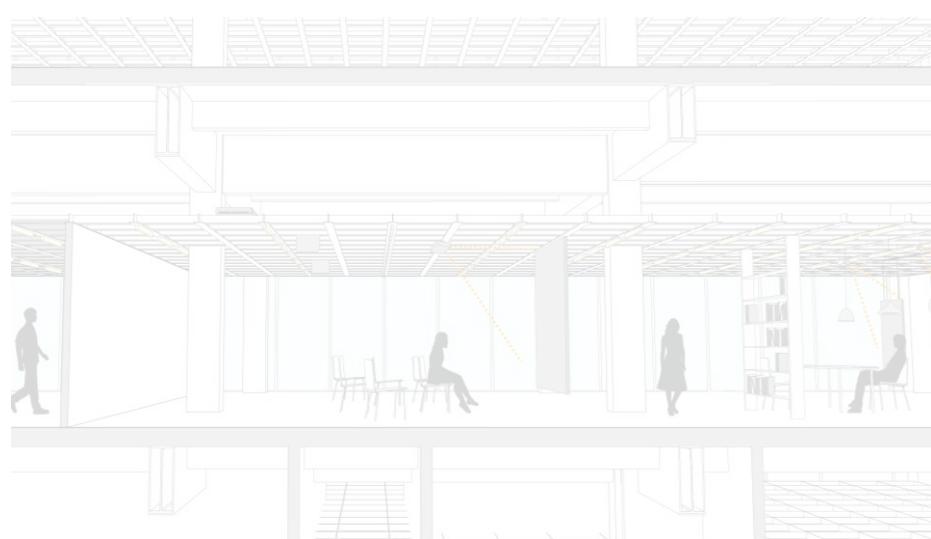
天井 岩綿吸音板

ガラスパーティション



天井 岩綿吸音板

柔軟性 Flexibility



将来のいかなる変更にも
追従できるしくみ

創造性 Creativity



知的生産性を向上
させるしくみ

持続可能性 Sustainability



環境にやさしく事業継続性を
考慮したしくみ

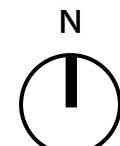
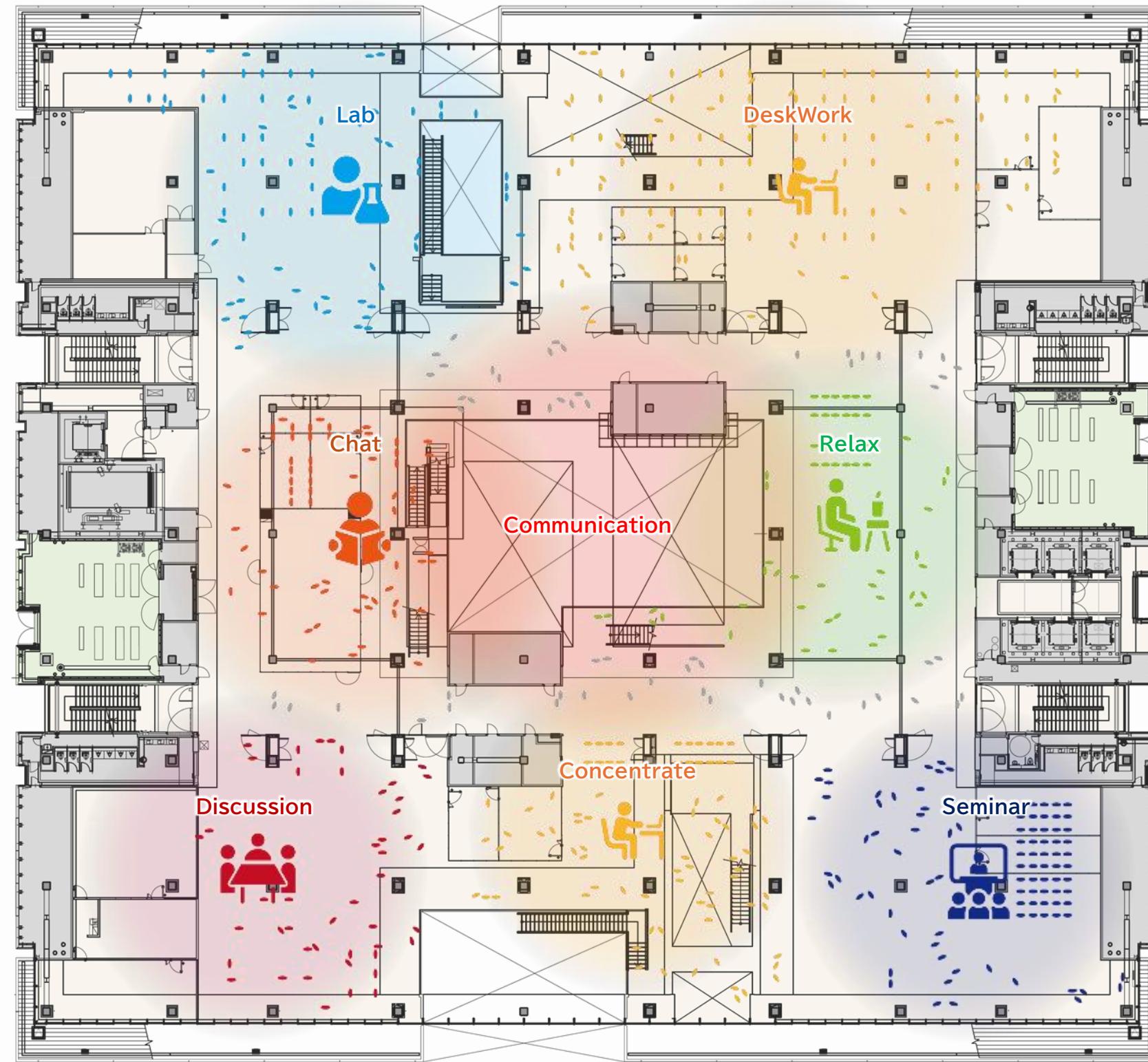
オンサイトモニタリング / 環境に呼応する内外の制御技術

室内外に設置した様々なセンサーにより環境をリアルタイム測定し、最適なソリューションを統合制御して建築と設備に連動。快適な空間提供と省エネの両立を実現。

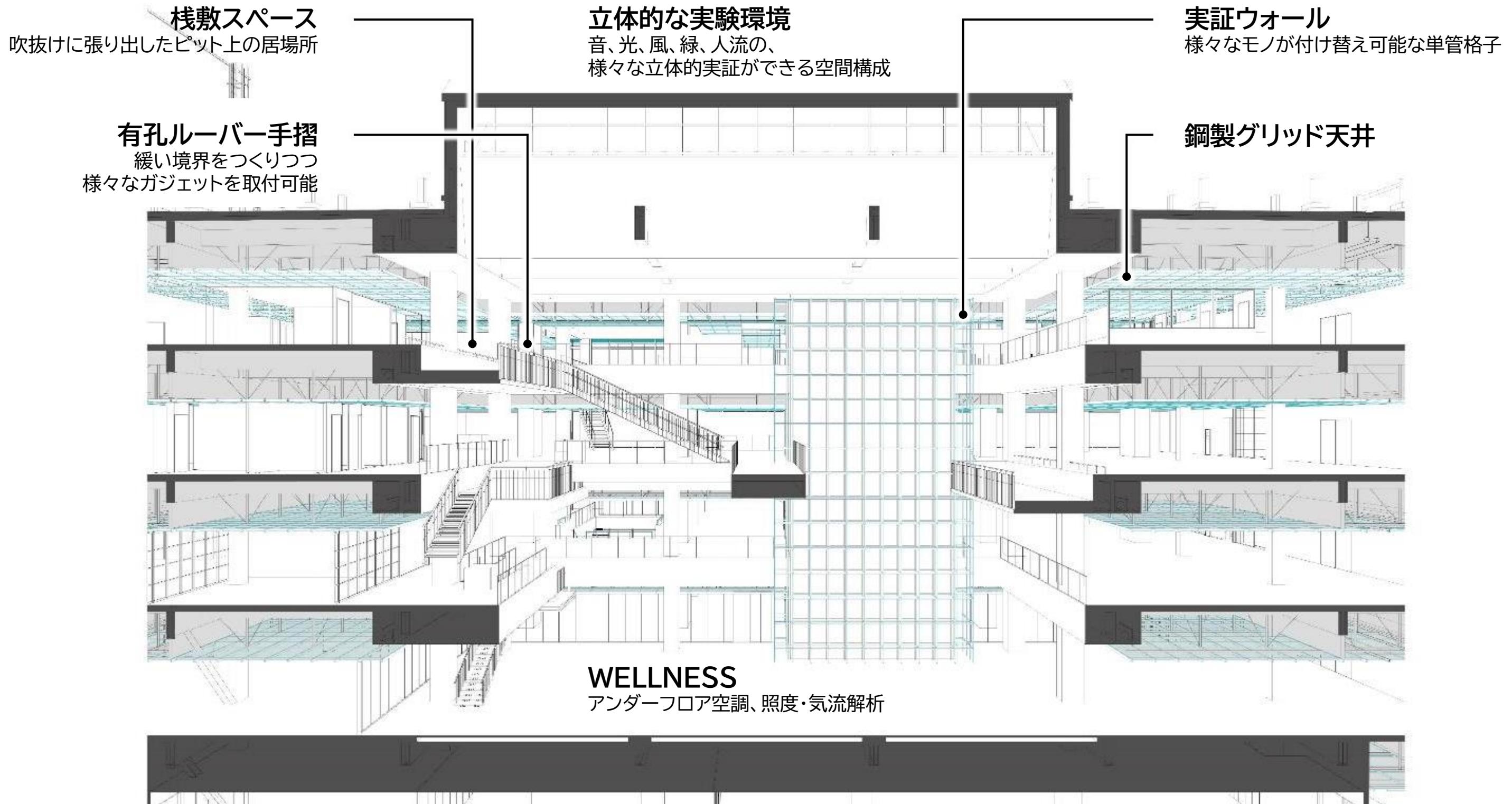


■アダプティブ室内環境制御

センサーによる照明・空調・気流などの制御と、利用者位置情報(混雑度)のマップ上での可視化によって、
一体的な空間でありながら多様な居場所を選択的に利用できる場を創出し、省エネと知的生産性の両立を実現。

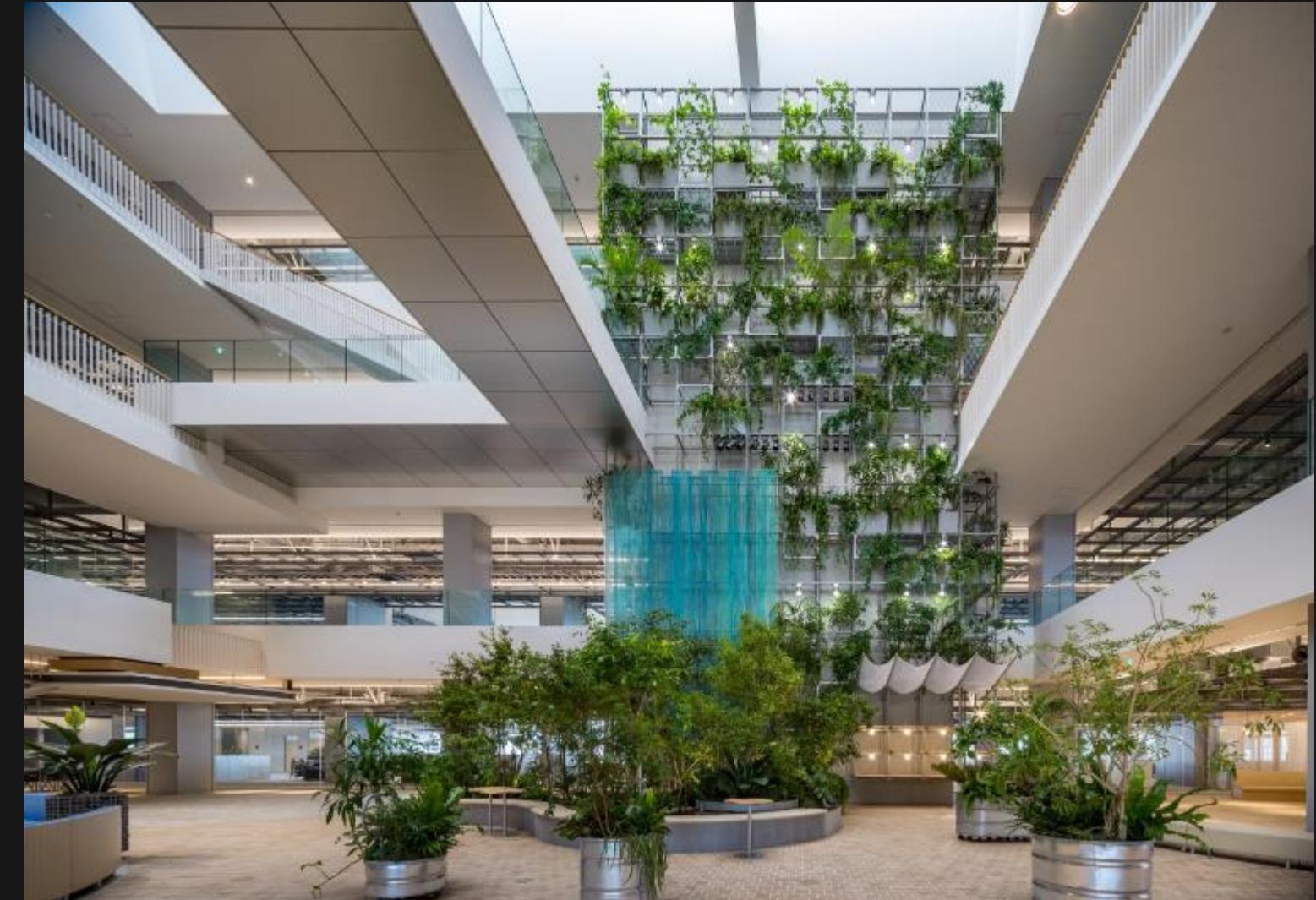


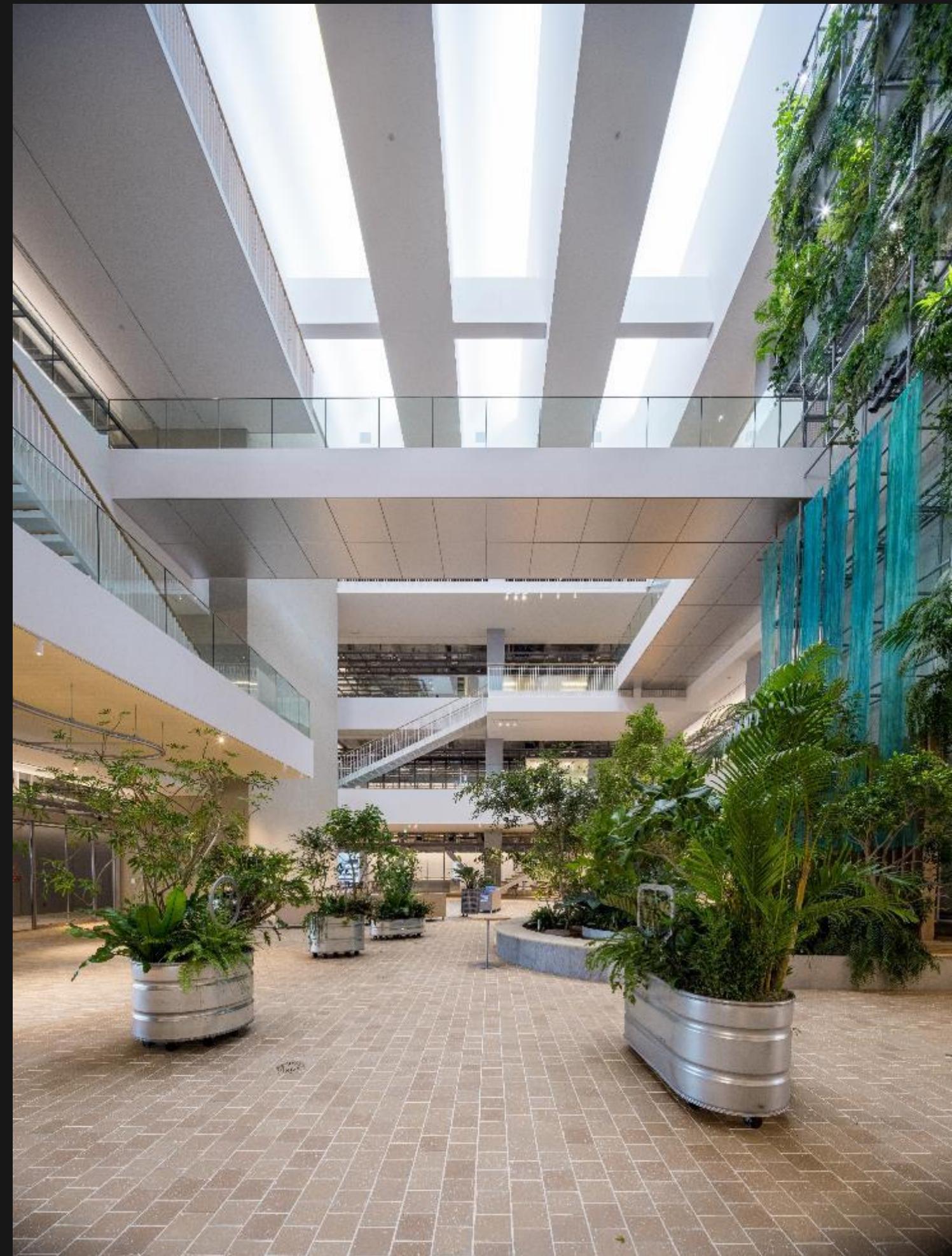
吹抜けでの、立体的なインフラストラクチャー



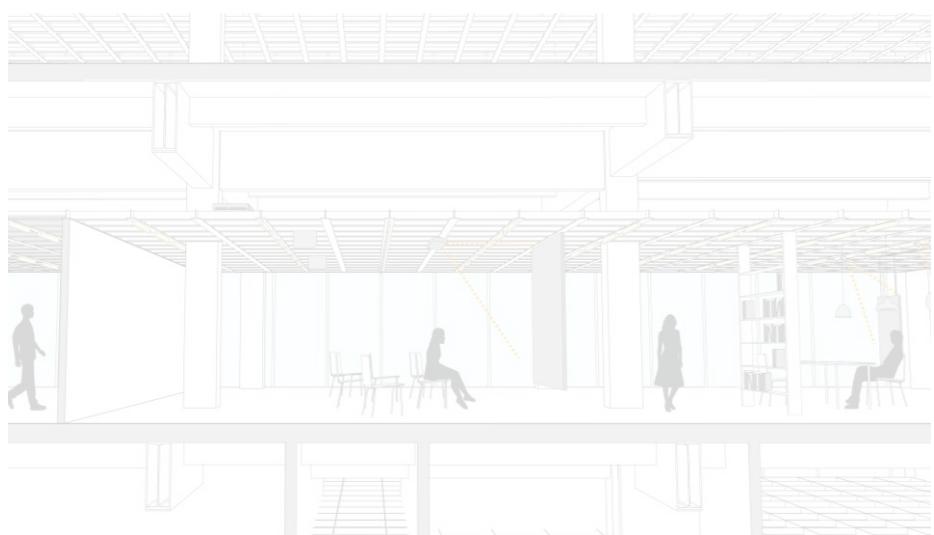
さまざまな ポジティブ・コラボレーション







柔軟性 Flexibility



将来のいかなる変更にも
追従できるしくみ

創造性 Creativity



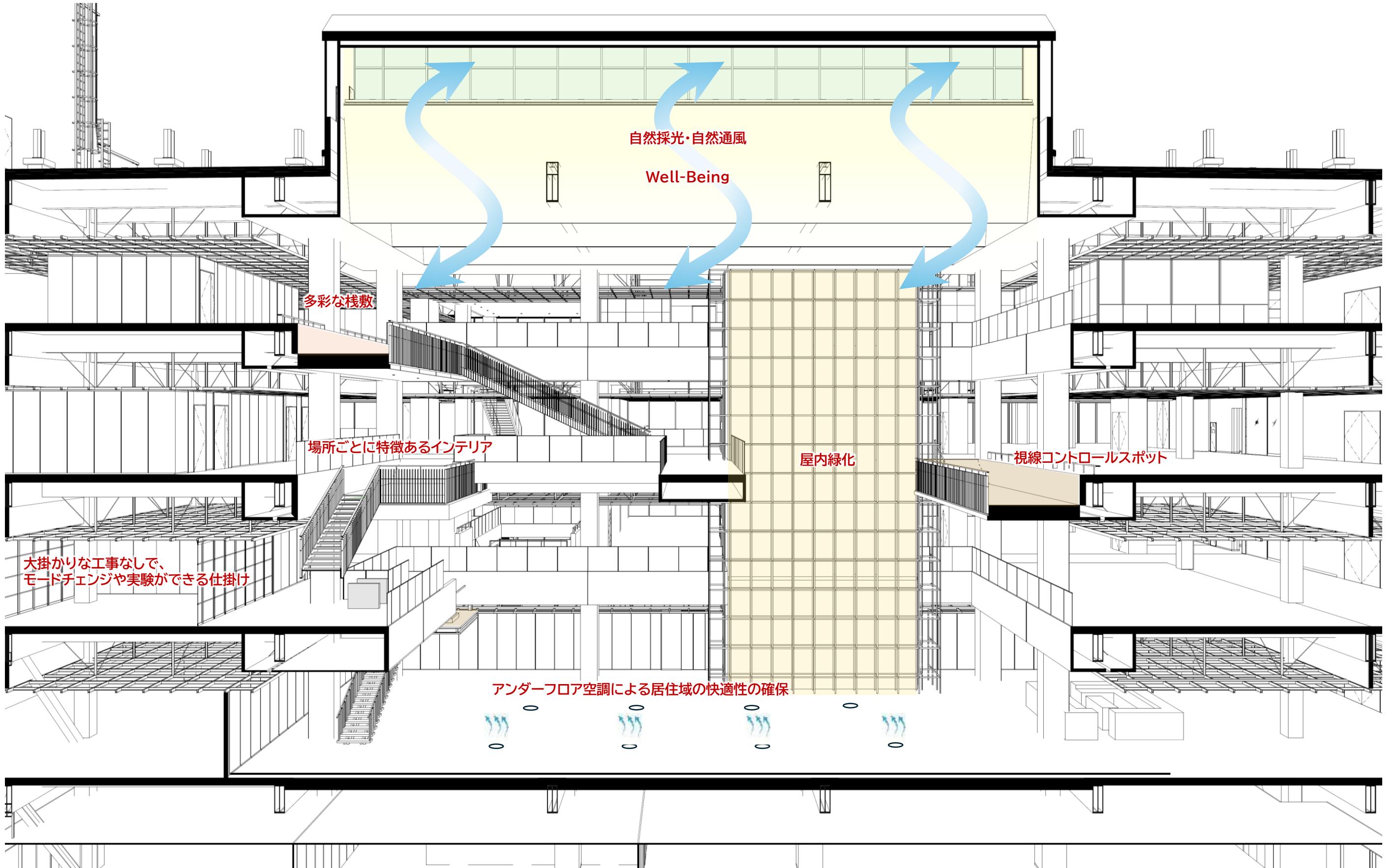
知的生産性を向上
させるしくみ

持続可能性 Sustainability



環境にやさしく事業継続性を
考慮したしくみ

■環境に配慮しながら快適な居住空間を生む中央吹抜

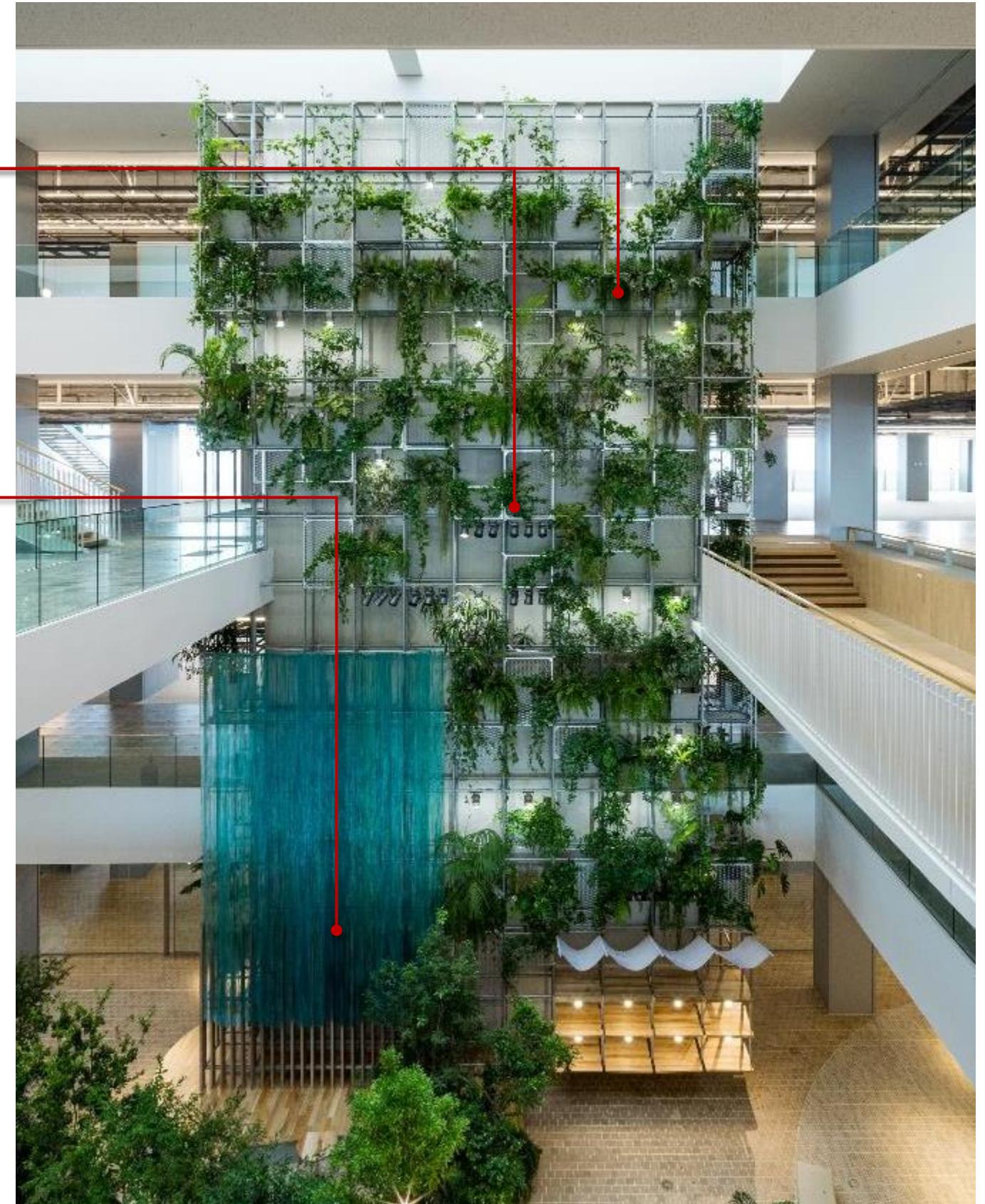
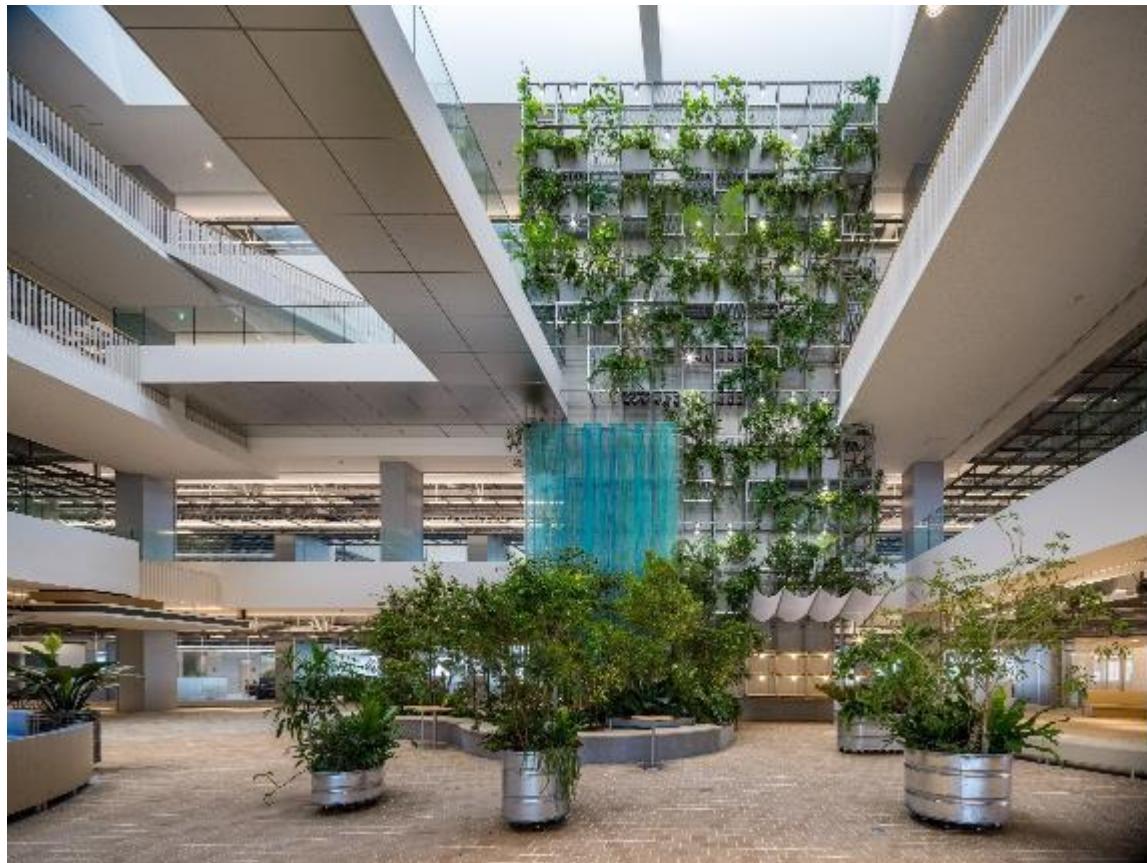


■鋼製グリッドによる実証ウォール

屋内壁面緑化の実証

- ・植物の生育に合わせた照明制御の実証
- ・自動灌水システムと、ドローン技術を融合した生育監視システム

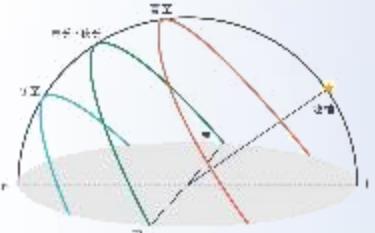
ルーバーに設けたスリットから気流を生むエアリーソリューションルーバー





■南北面は水平バルコニーによる庇効果とウェルネスを両立

太陽高度



冬の日射



夏の日射

One Panasonic 敷地全体（北面）
関西南部の遠くの山々（南面）まで見渡せるView



遮蔽物が無く、気持ちよく取り込む風

良好な眺望



自然換気

避難経路やサブメカニカルバルコニーとしても利用

リフレッシュテラス

執務エリア

執務エリア

中間期の自然換気

奥の執務エリアまで光を導く

部門の共創スペース

執務エリア

直達日射を遮りながら光を取り込む

RF

8F

7F

6F

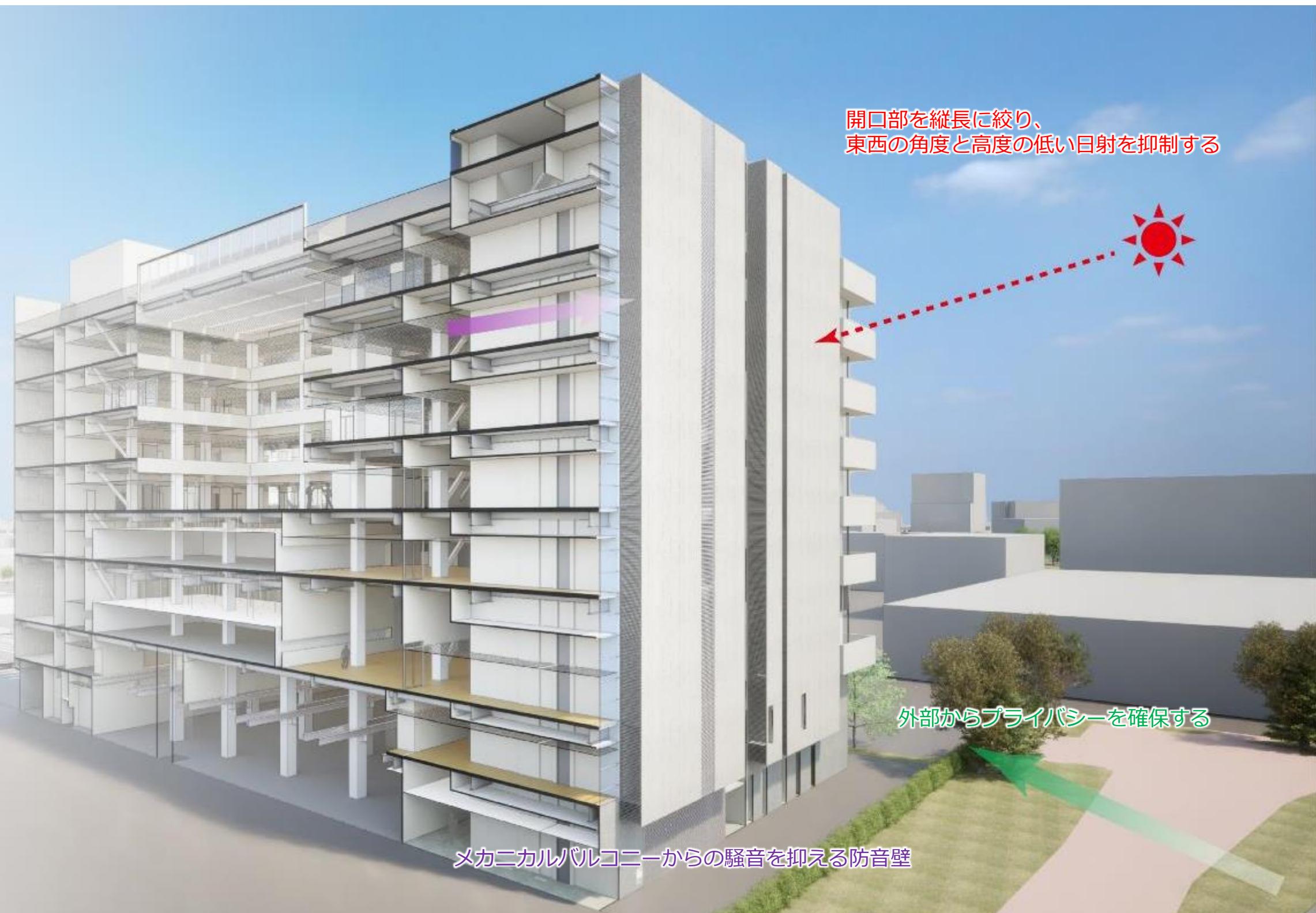
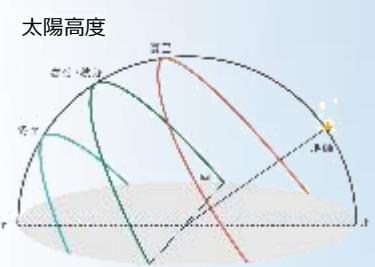
5F

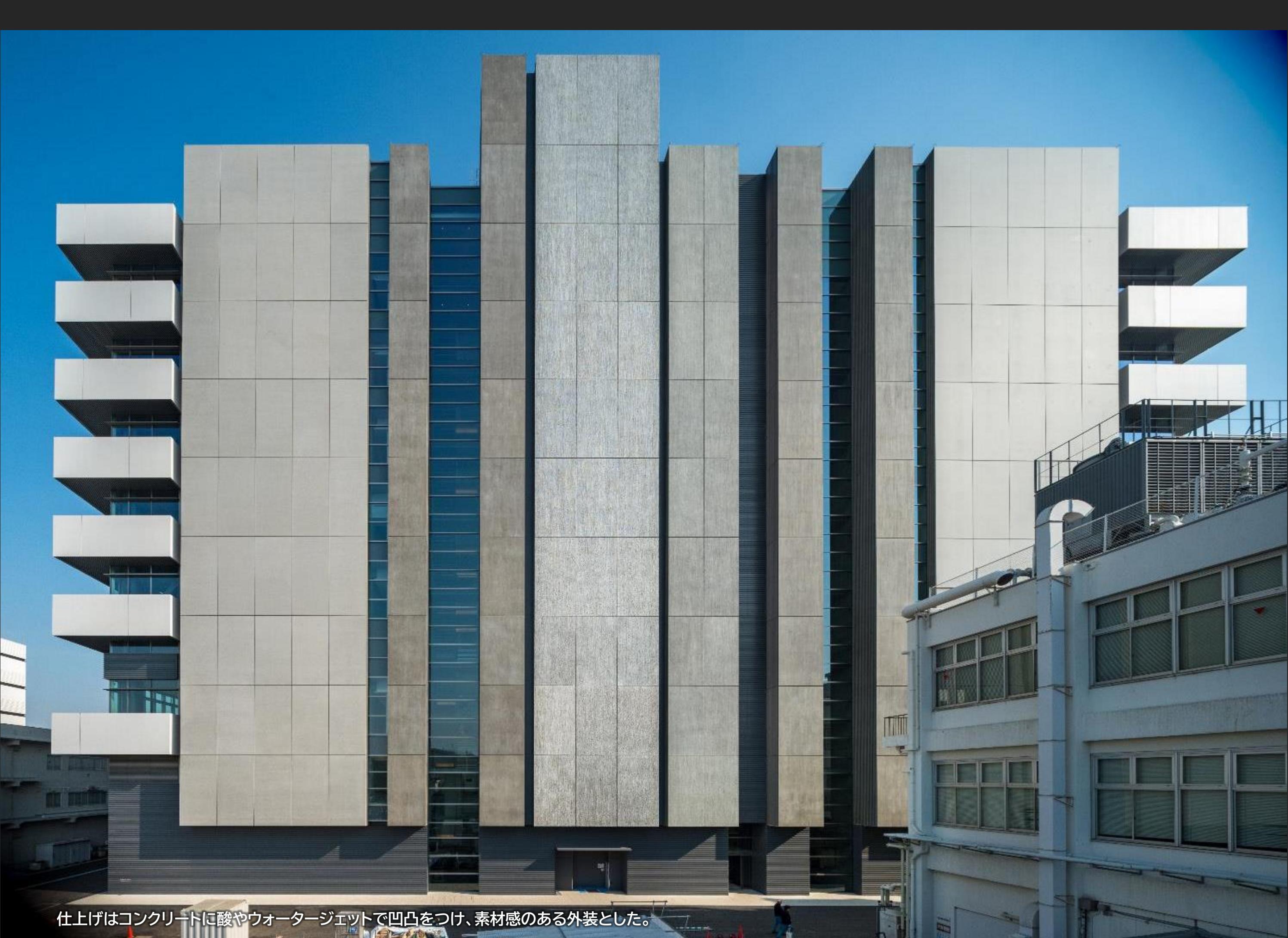
4F



外装はPca版でメンテフリーとし、南北の景観的調和、東西の周辺住宅地への生活環境配慮を図りながら、環境と呼応する計画とした。

■東西面は開口部を絞り、熱負荷、騒音、プライバシーに配慮

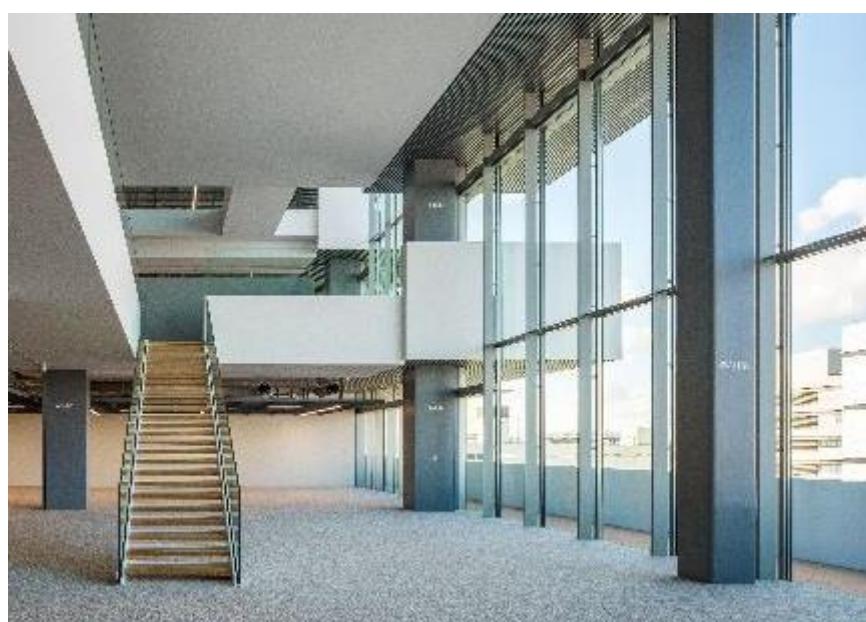
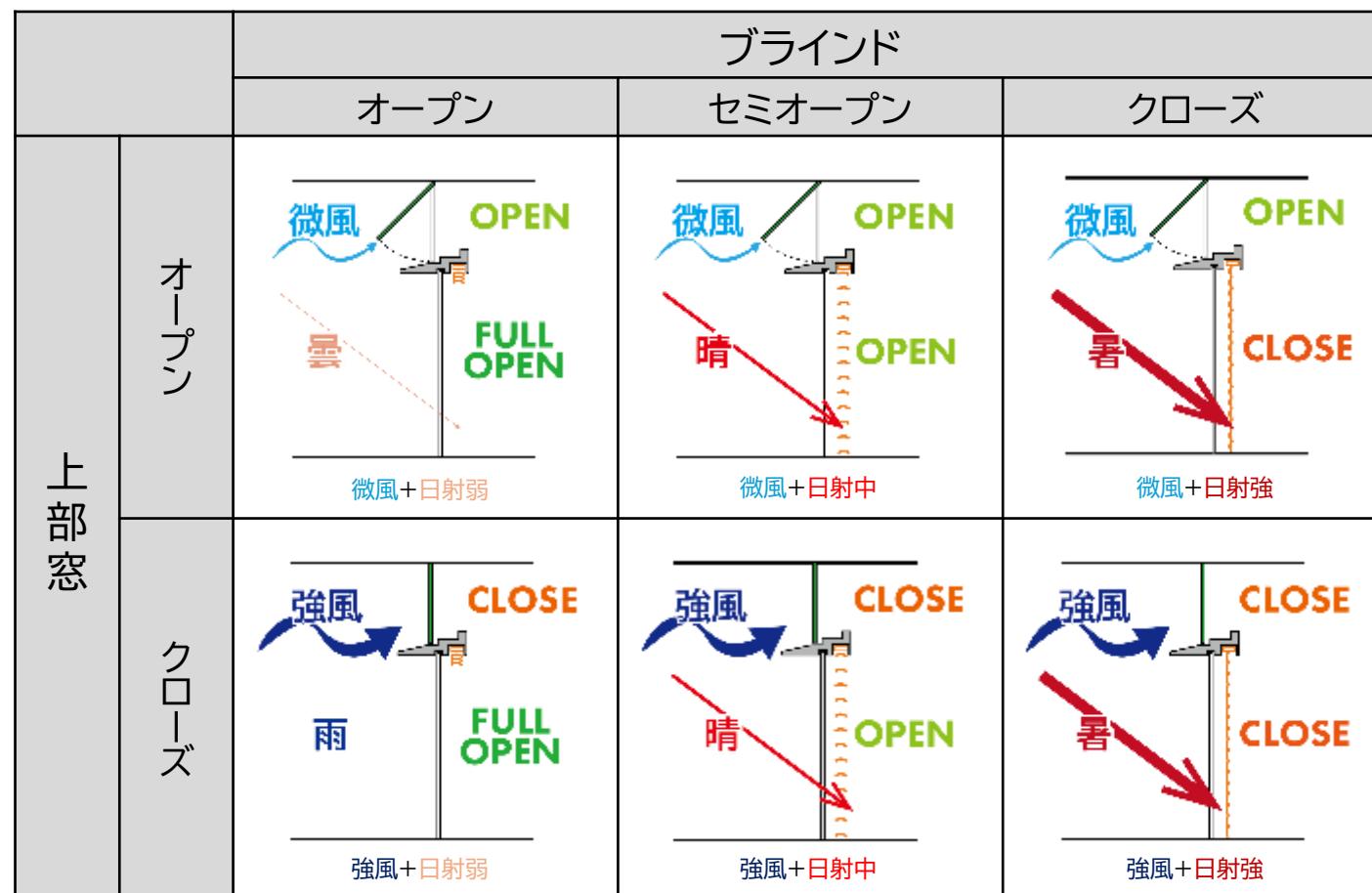




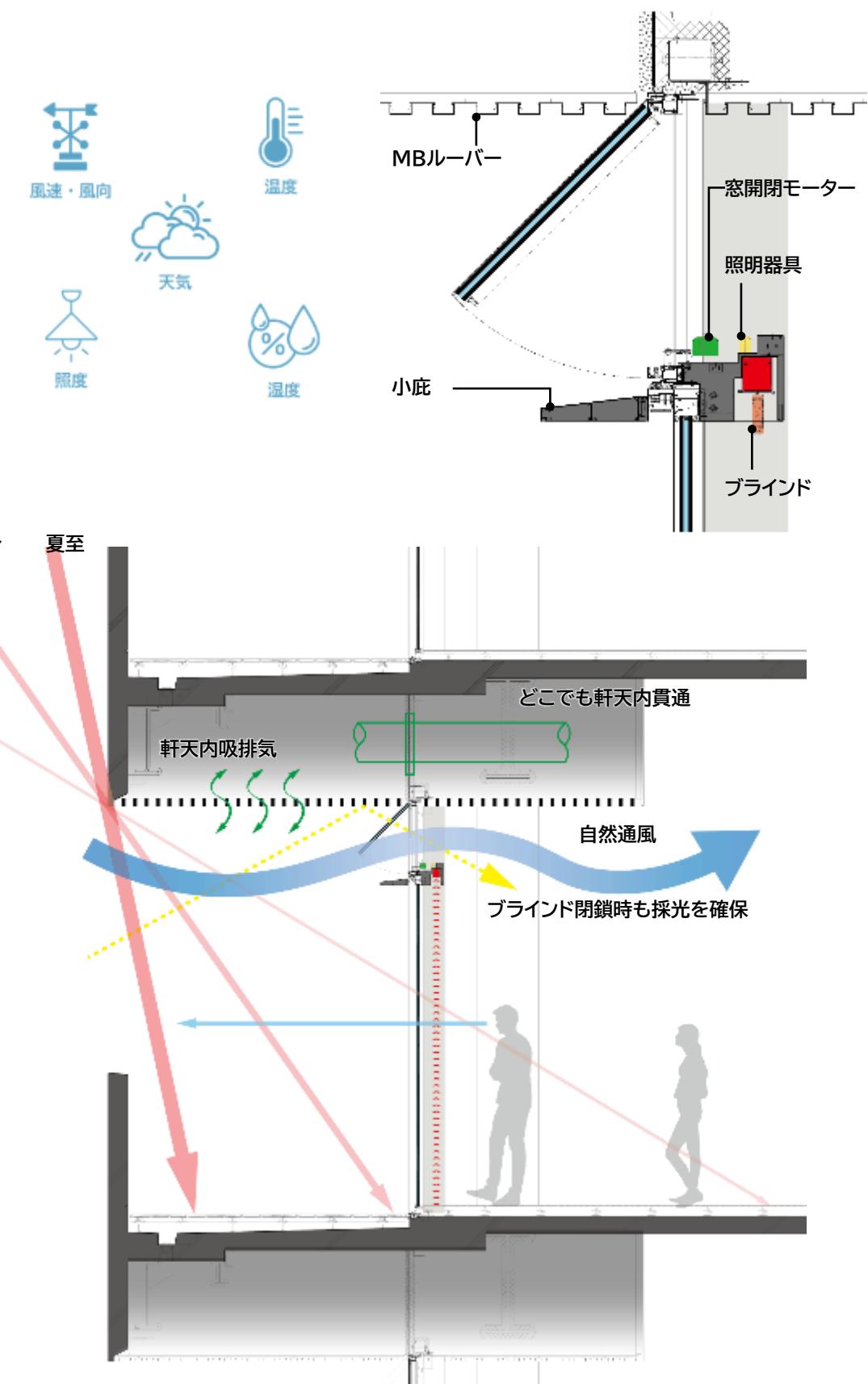
仕上げはコンクリートに酸やウォータージェットで凹凸をつけ、素材感のある外装とした。

■レスポンシブルファサード

天候、風向・風速、内外の気温・湿度、照度、CO₂などをセンシングし、上部突き出し窓の自動開閉や、ブラインド自動昇降・羽角度(ピッチ)の自動変更を行い、自ら反応し(考え)、働くファサードとした。



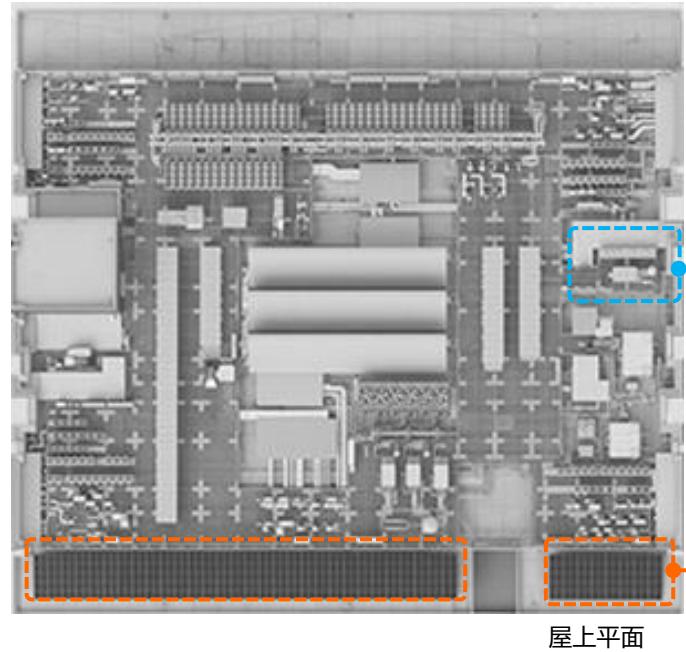
奥行のある方立が縦ルーバーとして働き、欄間窓が開閉。天井ルーバーが風景や照明を柔らかく反射する。



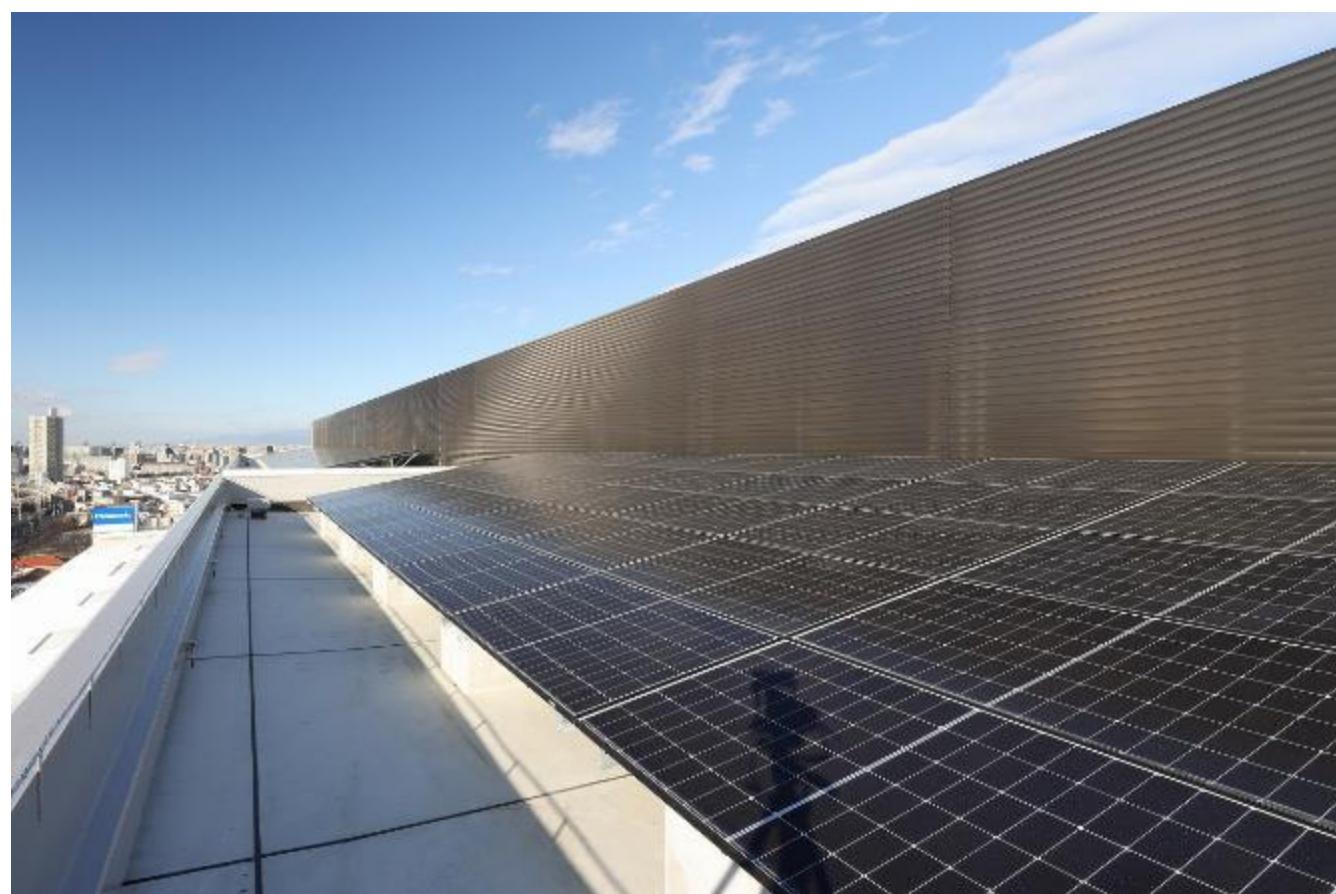
軒天内はどこでも設備配管が貫通でき、仕上げをルーバーにすることで、軒天内吸排気を可能とした。

■最先端の水素利用システム(水素+太陽光発電)

最新型の純水素燃料電池を実装。太陽光パネルで発電したCO2フリーの自然エネルギーを活用して、グリーン水素を生成し、純水素燃料電池にて高効率な発電を可能としている。自家消費システムだけではなく、太陽光・蓄電池・燃料電池の一斉放電によるピークシフトや、非常時に太陽光と燃料電池による発電機稼働時間の延長も可能にしている。



屋上平面



CASBEE S(BEE 3.1)、ZEB Oriented (BEI 0.58)

オフィスの環境配慮



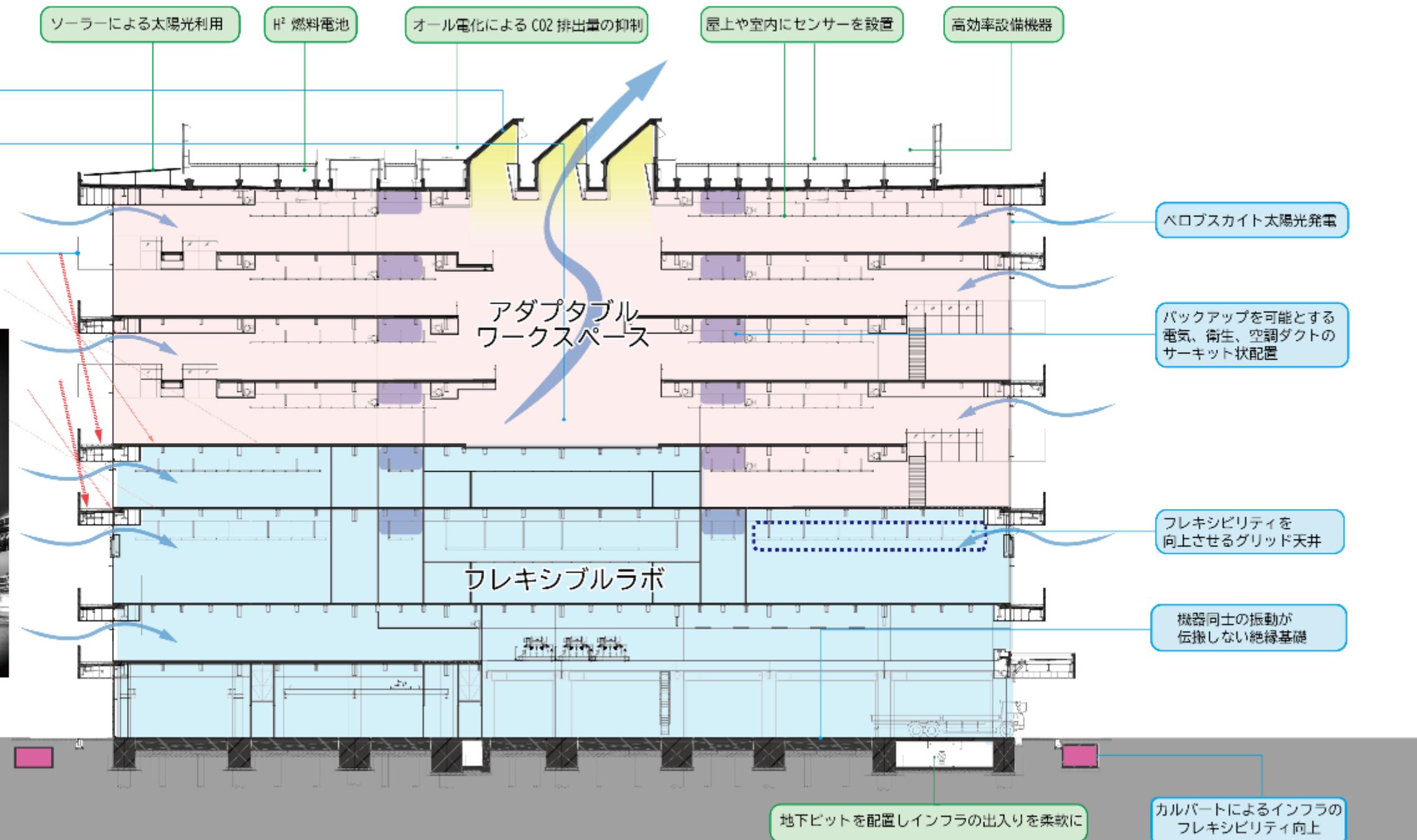
落ち着いた北向き自然採光

4層吹き抜けを活用した重力換気と自然換気

南北面バルコニーによる日射制御

中央吹抜は床下吹き出しによる居住域空調とし、省エネを図った。

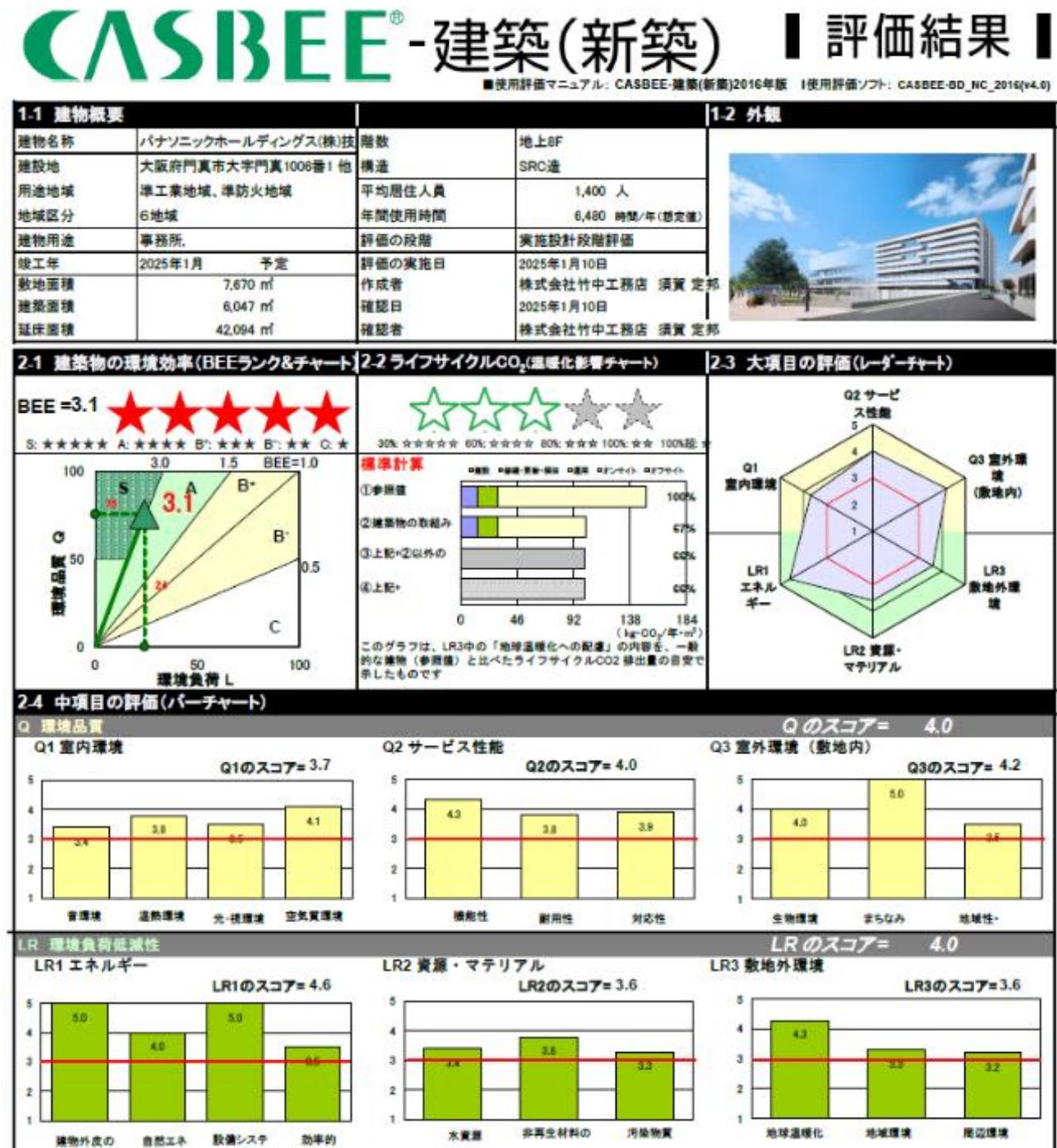
設備の環境配慮



ラボの環境配慮

CASBEE評価結果シート
「建築物環境効率ランキング」、「BEE値」、「レーダーチャート」、「バーチャート」

大阪府の重点評価
評価結果表示シート(様式3による再評価分)の「評価結果」



【評価結果】	CASBEE総合評価	★★★★★	S
① CO ₂ 削減	★★★★★	4.3	
② みどり・ヒートアイラント対策	★★★★★	3.5	
③ 建物の断熱性	★★★★★	5.0	
④ エネルギー削減	★★★★★	5.0	
⑤ 自然エネルギー直接利用		4.0	
再生可能エネルギー利用施設の導入状況	太陽光発電 ○ 風力 — 地熱 — 太陽熱利用 — 水力 — バイオマス —		
	エネルギー消費量の報告	報告しない	

BELS認証 ZEB Oriented を達成

建築物省エネ性能評価書

第三者評価

BELS

建築物省エネルギー性能表示制度

非住宅

物件概要

建物名称：パナソニックホールディングス(株)技術部門
西門真新棟計画

所在地：大阪府門真市大字門真1006番1他

地域の区分：6地域

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造

階数：地上8階

用途：事務所等

延べ面積：42,094.29m²

申請者

氏名又は名称：パナソニックホールディングス
株式会社 執行役員 小川立夫

所在地：大阪府門真市大字門真1006番地

評価概要

評価対象：建物（非住宅建築物全体）

評価手法※1：モデル建物法（平成28年基準）

• XMLID：1932f875-8931-4df7

※1 平成28年基準とは、建築物エネルギー消費性能基準などを定める省令（平成28年経済産業省令・国土交通省令第1号）に基づく基準をいいます。

評価結果について

本評価結果は、BELS評価業務方法書に従って評価を行ったものです。申請された図書により評価をしたものであり、評価年月日以降の計画変更や劣化等がないことを保証するものではありません。また、建築物に瑕疵がないことを保証するものではありません。

エネルギー消費性能

★5つです。削減率が10%向上する毎に★が1つ増加します。★の数が多いほど高い省エネ性能を有します。



★ 再エネなしの一次エネルギー消費量削減率 ★ 太陽光発電分の一次エネルギー消費量削減率

再エネなし	再エネあり (自家消費分)	再エネあり (自家消費分+売電分)			
削減率 40%	BEIm値 0.60	削減率 42%	BEIm値 0.58	削減率 42%	BEIm値 0.58

達成項目 ※達成した場合にのみ、チェックマーク✓とZEBマークが表示されます。

ZEB水準 エネルギー消費性能が、事務所等の用途で★5つ、病院等の用途で★4つを達成

ネット・ゼロ・エネルギー ZEB Oriented の要件は評価書をご覗ください。

再エネ設備

設備あり	種類	容量
設備あり	太陽光発電設備	—



評価情報

評価年月日	2025年1月30日	評価書交付番号	015-00-2025-00001
評価機関名	一般財団法人日本建築総合試験所		
評価員氏名	小川 哲也		

一次エネルギー消費性能

判定(算定)結果 [GJ/戸・年]

	判定(※2)
省エネ基準	達成
省エネ基準 (大規模非住宅) (※1)	達成
誘導基準	達成

断熱性能

判定(算定)結果

	BPI値	BPI値の基準値	判定(※3)
省エネ基準	—	—	—
誘導基準	—	1.0	—

※1 新築、増築又は改築後の非住宅部分の床面積の合計が2000m²以上の大規模非住宅建築物の場合の省エネ基準です。なお、評価を行った建築物が大規模非住宅建築物に該当するかの判断は行っておりません（以下同じ）。※2 設計一次エネルギー消費量が基準一次エネルギー消費量以下となる場合、「達成」となります。※3 誘導基準において、BPI値が基準値以下となる場合、「達成」となります。非住宅の外皮性能を示す指標（BPI=設計PAL*/基準PAL*）※4 省エネ基準（大規模非住宅を含む）においては、エネルギー消費性能の判定が達成の場合に達成となります。誘導基準においては、一次エネルギー消費性能及び断熱性能の判定が達成の場合に「達成」となります。

特記項目

再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量の基準一次エネルギー消費量からの削減率（※6）	40%	ZEB Oriented マークの要件 ※①・② 全てを満たす
再生可能エネルギーを加えた設計一次エネルギー消費量の基準一次エネルギー消費量からの削減率（※6）	42%	① 用途毎に定められた再生可能エネルギーを除く削減率の基準を満たす。複数用途の場合は、各用途で基準を満たす。 ・事務所等、学校等、工場等: 40%以上 ・ホテル等、病院等、百貨店等、飲食店等、集会所等: 30%以上 ※部分評価の場合、建築物全体で再生可能エネルギーを除く削減率が20%以上であることも必要。 ② その他ZEB Orientedの要件を満たす
ZEBマークに関する事項	ZEB Oriented	

参考情報 ※以下については、評価対象外の項目となります。

建築物の竣工・改修時期

竣工時期	2025年1月31日	改修時期	—
------	------------	------	---

日光熱費

対象外

その他の項目

- ・ZEB Orientedの要件のうち、「建築物（非住宅部分）全体の延べ面積が10,000m²以上であること」、「未評価技術（公益社団法人空気調和・衛生工学会において省エネルギー効果が高いと見込まれ、公表されたもののが対象）を導入すること。」に関する事項については申請者からの自己申告によるものであり、評価の対象外である。なお、申告された未評価技術は、以下の通りである。
 - CO₂濃度による外気量制御
 - 自然換気システム
 - 空調ファン制御の高度化
 - 照明のゾーニング制御
 - 自然採光システム

申請者情報 (申請者が複数名いる際に表示)

申請者 2

氏名又は名称：
所在地：

申請者 3

氏名又は名称：
所在地：

申請者 4

氏名又は名称：
所在地：

申請者 5

氏名又は名称：
所在地：

※6 削減率とは、設計一次エネルギー消費量（その他一次エネルギー消費量除く）の基準一次エネルギー消費量（その他一次エネルギー消費量除く）からの削減率をいいます。また、再生可能エネルギーの対象は敷地内（オンライン）に限定し、自家消費分に加え、売電分も対象に含みます（ただし余剰売電に限る）。

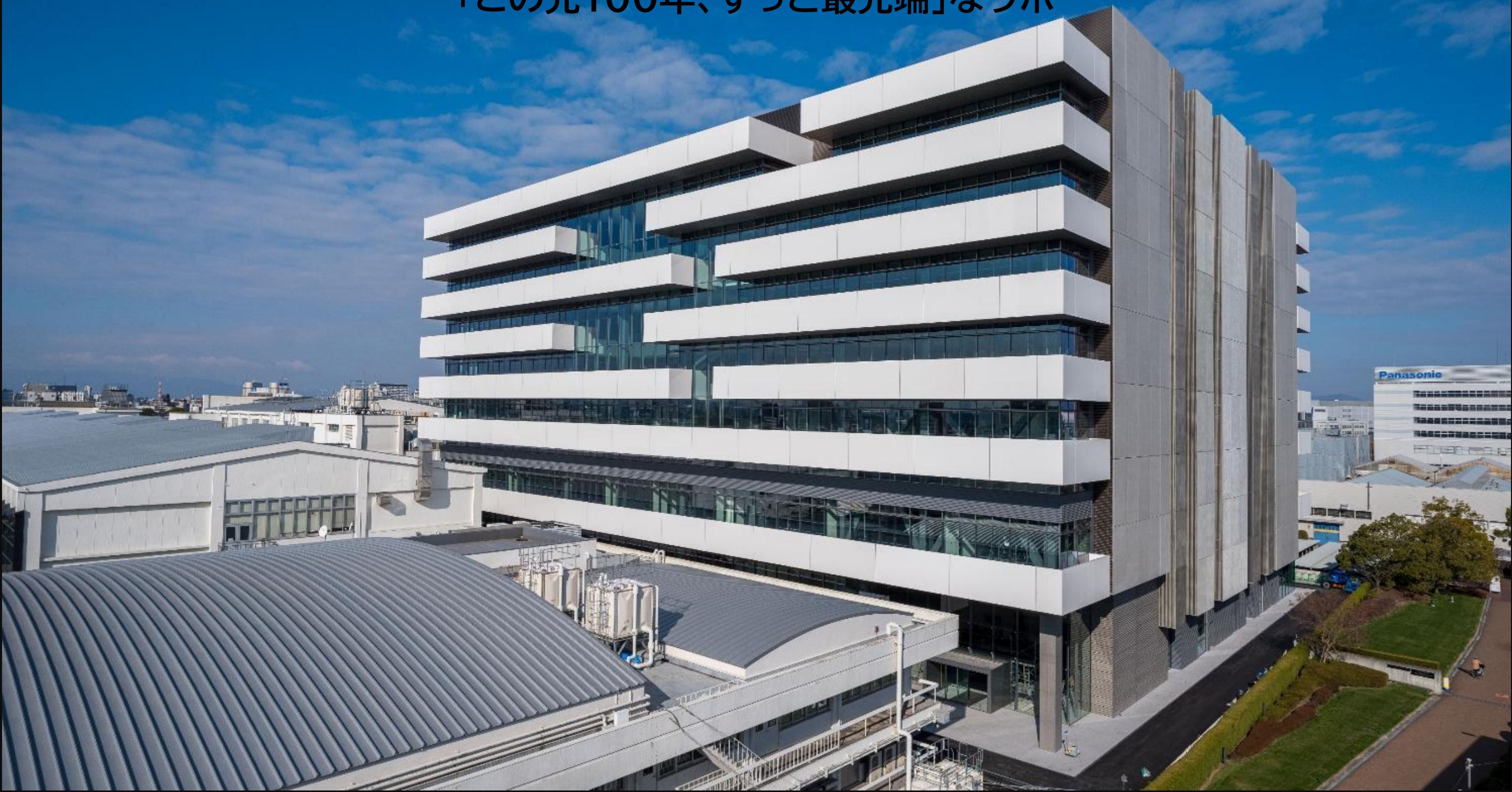
本評価書について 本評価書は、「建築物のエネルギー消費性能に関し販売事業者が表示すべき事項及び表示の方法その他建築物のエネルギー消費性能の表示に際して販売事業者が遵守すべき事項（令和5年国土交通省告示第970号）」に基づく「建築物のエネルギー消費性能の評価書」です。建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律などの法令への適合を証明するものではありません。また、住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく住宅性能評価書ではありません。基準の達成・非達成の判定は、設計値と基準値の比較によるものであり、単位の換算や有効数値の扱いにより削減率等の数値と整合しない場合があります。

1/2

015-00-2025-00001

2/2

「この先100年、ずっと最先端」なラボ





「この先100年、ずっと最先端」なラボ

2 0 2 5 ⇒ 2 1 2 5